

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	国語		科目名:	文学国語		講座名:	文学国語	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:		文学国語(筑摩書房)、新国語便覧(第一学習社)、読解を深める現代文単語評論・小説改訂版(桐原書店)、大学入試頻出漢字2500(文英堂)、ちくま評論選二訂版(筑摩書房)、感性日本文学史ノート(啓隆社)						
教科担当者:		石井明子、辻亜弓、野中裕						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、社会生活で必要となるコミュニケーション能力を身につけることができる。	近代から現代までの様々な文章に接して内容を的確に理解し、他者に伝達することができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

日常の学習方法

①単元学習の前に下読みを行い、漢字・語彙の下調べを済ませ、疑問となる項目を挙げておく。 ②授業では主体的に疑問点に取り組み、指導内容と個々の考えをすり合わせて、自己の疑問点を解決する。 ③復習として、授業内容の確認を行い、より深い読解と表現力を養う。 ④漢字テストを行って漢字力を定着させ、また現代文単語集を使用して語彙を増やしていく。 ⑤問題集・過去問題等を通じて、実践的な学習を行う。
--

履修上の注意(発展科目との関連)

必修科目であり、2年次に引き続いて計4単位を履修する。現代文はすべての科目の基礎となり、現代を生きる上で必要となる力を身につける科目である。授業内容に関しては、生徒の実態に応じて変更することがある。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「小説とは何か」(三島由紀夫)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	作者の主張を分析し、再構成する表現力。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	「陰翳礼讃」(谷崎潤一郎)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	論の展開に留意した評論の読解。 日本文化論の理解。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	中間考査							
	「舞姫」(森鷗外)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	近代文語文体小説の基本的な読解	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	期末考査							
1学期配当時間計								26
2 学期	「絵画は紙幣に憧れる」(樫木野衣)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	論の展開に留意した評論の読解。 芸術論の理解。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	「隠れん坊の精神史」(藤田省三)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	論の展開に留意した評論の読解。 近代日本思想についての理解。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	中間考査							
	「無常ということ」(小林秀雄)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	論の展開に留意した評論の読解。 抽象度の高いテーマの読解。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	「寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか」(渡辺 和郎)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	論の展開に留意した評論の読解。 筆者の主張を理解し、自分の言葉で表現する力。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	期末考査							
2学期配当時間計								30

3 学 期	大学入試問題演習	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	様々なテーマの文章にふれる。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	4	
		学年末考査							
		3学期配当時間計							4
		年間配当時間計							60

授業外での学習・講習・特別考查等

特別考查(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考查(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考查(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	評論 小説 随想 (外部模試を利用)			評論 小説 随想 (外部模試を利用)			

教科:	国語	科目名:	古文講読	講座名:	古文講読		
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修選択	形態:	クラス単位
使用教科書・補助教材:		精選古典探究古文編(三省堂)、体系古典文法(数研出版)、必携明説漢文(尚文出版)、古文単語330(いいずな書店)、新版六訂 カラー版新国語便覧(第一学習社)、完成日本文学史ノート 三訂版(京都書房)、共通テスト対策古典完答22(尚文出版)					
教科担当者:	石井明子、辻垂弓						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

①「学習の手引き」「語句と表現」を予習し、語句調べ、現代語訳等を行う。 ②授業では予習でわからなかった部分を中心に、新たな知識を得るとともに、知識の正しい活用方法を学ぶ。 ③復習として授業で学んだ事項を整理して定着を図る。 ④小テスト等で古文単語の知識を継続的に増やしていく。 ⑤問題集等の副教材で発展的な学習を行う。

必修選択科目であり、1年次で履修した「言語文化」、2年次で履修した「古典探究」を発展させた科目である。1・2年次で学んだ基礎的な事項の上にさらに発展的な学習を行い、古典の世界を味わえるようにする。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	物語	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	『大鏡』『弓争ひ』 指導項目：助動詞の完成、助詞の復 習、敬語法の習熟	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	日記	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	『蜻蛉日記』『うつろひたる菊』 指導項目：助動詞の完成、助詞の復 習、和歌の復習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	中間考査							
	日記	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中を」 指導項目：助動詞の完成、助詞のま とめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	物語	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	『源氏物語』 「心づくしの秋風」 指導項目：助動詞の完成、助詞の完 成	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
期末考査								
1学期配当時間計								26
2 学 期	物語	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	『大鏡』 「明石の君の苦惱」 「萩の上露」 指導項目：敬語・助詞の完成	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	評論	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	『源氏物語玉の小櫛』 「もののあはれの論」 『無名抄』『深草の里』 指導項目：文法の総まとめ、文学史の まとめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	中間考査							
	問題演習	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	大学入試問題演習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	15
期末考査								
2学期配当時間計								30

3 学 期	問題演習	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	大学入試問題演習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	学年末考査							
					3学期配当時間計			4
					年間配当時間計			60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	4月30日古文 7月5日古文	難関大講座(希望 者)		11月5、6日古文			

教科:	国語		科目名:	漢文講読		講座名:	漢文講読	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修選択	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:		精選古典探究(漢文編)・必携明説漢文(尚文出版)・ウィニングクリア3(尚文出版)・体系古典文法(数研出版)						
教科担当者:	志村直子							

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢文の構造を知り、正しい訓読法と句法を身につけることで、作品世界の深い読解力と鑑賞力を育成する。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、漢文を通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	古代中国の歴史と思想の知識を得て、時代と地域を超えた人間の普遍性について考察する。

①本文を音読する。②本文を書き下す。③授業では新たな知識を得るとともに、今まで学んだ知識の定着を図る。④問題集等の副教材で発展的な学習を行う。

文系生徒について必修科目であり、2年次で履修した「古典探究」をより発展させた科目である。2年次で学んだ事項の上にさらに発展的な学習を行い、漢文の世界を味わえるようにする。授業内容に関しては、生徒の実態に応じて変更することがある。

[illegible]

3 学 期	問題演習	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる。	逸話・史伝・随筆・詩文・論文などの多様な文章	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	4
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	7月5日漢文			11月5日漢文			

教科:	国語	科目名:	現代文演習	講座名:	現代文演習		
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	選択者
使用教科書・補助教材:		文学国語(筑摩書房)、過程の演習新国語問題集第54集現代文編(啓隆社)、読解を深める現代文単語(桐原書店)					
教科担当者:	春田 和彦						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主に国立・公立大学受験者を対象とした講座で、個別試験の記述対策を主眼としている。語彙や読解技術・解答技術を駆使し、精確に本文を理解する力と理想的な解答を作成する力を身に付けていく。	記述問題の解答には、正しく本文を読み取る力、また何を問われていてどのようなことを答えるべきかを検討する力を必要とする。そのために必要な力は何かにについてを自ら考え、習得していく力を涵養する。	文章を構造的に読み解こうとすること、また表現の細部にまで分け入って考察すること、を並行して実施するために、文章・問題に対する積極性が必要とされる。前向き且つ根気強く取り組む力を体得していく。

- ①現代文単語に関する知識を確認した後、問題集中の記述問題に取り組む。
- ②解答後、解答解説を参照しながら自己採点し、採点力を養いつつその時点での自らの解答力を把握する。
- ③本文の内容や構成について教員の解説を聴く。また出題の意図や望ましい解答のあり方を確認する。
- ④改めて自己の解答を分析し、復習につなげる。

「文学国語」とかかわりの深い科目である。「文学科目」での学習を踏まえつつ、本文読解・記述の機会を多く設けることで、さらなる学力向上を図る。

[illegible]

3 学 期		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	4/30 現代文 7/5 現代文			9/29 現代文 10/14 現代文 11/17 現代文			

教科:	国語	科目名:	文系古典演習	講座名:	文系古典演習		
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位
使用教科書・補助教材:		アップリット古文入試標準改訂第4版(Z会編集部)、国公立二次過去問題古典編(数研出版)、体系古典文法九訂版(数研出版)、古文単語330(いいずな書店)					
教科担当者:		池田篤					

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国公立二次試験対策の授業であり初見の古文の内容を的確に素早く理解する力が必要とされる。文法と古文単語の知識と時代背景や人間関係を考慮に入れた詠ができる技能を身に付けなくてはならない。	身に付けた古典文法知識や培ってきた古文語彙を基礎に古典世界を読み解く思考力と、複数の解釈が存在する場合に必要なとされる判断力を高める事によって国公立二次試験に必要な表現力を育成する。	古典世界の出来事や人物の行動を丁寧に読み解くことによって「現在の日本人との相違点」を見いだすことが出来、それが学びにむかう力となる。自国の文化への深い洞察を行えば、生徒自らが豊かな人間性を育てる契機となる。

- ①問題集の中から生徒の理解に益する文章を与え、生徒は持てる知識と技能を使って解答をする。
- ②解答は生徒が所持しているため、解答・単語集・古典文法体系等の資料を参照して自己の解答の良否を自分で判断させる。
- ③出題の意図や生徒の犯しやすい間違い等を解説し、より深い内容理解を行わせる。
- ④授業に応じたノート作りをさせ、自主的に自己の弱点に気がつけるようにする。
- ⑤重要事項の復習を行わせ、知識・技能・思考力・判断力・表現力を育て、主体的な学びに結びつける。

必修科目であり、「言語文化」「古典探究」を経た上で取り組む科目である。1・2年次で学んだ基礎的・応用的な学びの上にさらに発展的な学習を行い、古典の世界を味わえるようにする。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	古文Ⅰ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○アップリフト古文 【物語論】「無名草子」 【歌論①】「俊頼髄脳」 【歴史物語①】「大鏡」	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
		【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○アップリフト古文 【説話①】「宇治拾遺物語」 【物語①】源氏物語 【説話②】「宇治拾遺物語」	【説 【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	中間考査							
	古文Ⅱ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○アップリフト古文 【歌物語①】「平中物語」 【紀行①】「庚子道の記(序)」	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
		【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○アップリフト古文 【随筆②】「枕草子」 【歌物語②】「伊勢物語」 【歌論②】無名抄	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
期末考査								
1学期配当時間計								26
2 学期	古文Ⅲ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○アップリフト古文 【歌論③】「六百番歌合」 【物語⑤】「横笛草子」 ○国公立二次過去問選・古典編 【宇治拾遺物語】 【紫文要領】	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
		【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○国公立二次過去問選・古典編 【本朝校陰比事】 【栄花物語】 【俊頼髄脳】	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	中間考査							
	古文Ⅳ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○国公立二次過去問選・古典編 【讃岐典侍日記】 【広益俗説弁】 【平中物語】	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
		【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	○国公立二次過去問選・古典編 【源氏物語】 【唐物語】	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
期末考査								
2学期配当時間計								30

3 学 期	古文Ⅴ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	入試問題演習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	学年末考査							
					3学期配当時間計			4
					年間配当時間計			60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	7月5日 古文			11月5日・6日 古文			

教科:	国語		科目名:	理系古典演習		講座名:	理系古典演習	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		精選古典探究古文編(三省堂)、精選古典探究漢文編(三省堂)、体系古典文法(数研出版)、必携明説漢文(尚文出版)、古文単語330(いっずな書店)						
教科担当者:		辻亜弓						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

- ①ア音として、語彙の調べ字音、現代語訳等を行う。
- ②授業では予習でわからなかった部分を中心に、新たな知識を得るとともに、知識の正しい活用方法を学ぶ。
- ③復習として授業で学んだ事項を整理して定着を図る。
- ④小テスト等で古文単語の知識を継続的に増やしていく。
- ⑤問題集等の副教材で共通テスト対策を行う。

理系向けの自由選択科目である。
授業内容は生徒の実態に応じて変更することがある。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	古文Ⅰ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	『大鏡』 「弓争ひ」 指導項目:助動詞の復習、助詞の復習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	漢文Ⅰ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	小話「不死之薬」「三横」「不顧後患」 指導項目:2年次までの復習(基本的な句法、語法)	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	古文Ⅱ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	『源氏物語』 「物の怪の出現」 指導項目:助動詞の復習、敬語の復習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	漢文Ⅱ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	小説 「人面桃花」 指導項目:発展的な句法・語法	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6
1学期配当時間計								26
2 学期	古文Ⅲ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	評論 『俊頼髄脳』『沓冠折句の歌』 『無名抄』『深草の里』 『毎月抄』『心と詞』 指導項目:歌論の読解、文法事項の総まとめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	漢文Ⅲ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	『史記』 荊軻「図窮而七首見」 指導項目:句法・語法の総まとめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	古文Ⅳ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	共通テスト過去問演習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	漢文Ⅳ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができる	共通テスト過去問演習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
2学期配当時間計								30

3 学 期	古文Ⅴ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	共通テスト過去問演習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	漢文Ⅴ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	共通テスト過去問演習	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	2
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	古文 漢文			古文 漢文			

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	国語		科目名:	小論文演習		講座名:	小論文演習		
年次:	3年次	単位数:	2		区分:	自由選択		形態:	選択者
使用教科書・補助教材:		新版六訂カラー版新国語便覧(第一学習社)、国公立・私立大学の小論文入試問題等							
教科担当者:		野中 裕							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けることができる。	論理的思考力や文章表現力を身につけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

日常の学習方法

・書き方やテクニックを受け身に学ぼうとする姿勢では小論文を書くことはできない。多くの文章に触れ、様々な社会的事柄に対して自分の事としてとらえると共に、そこに「問い」を発見し、問題や課題に対して、考えや解決策を答えていく姿勢を養うことが重要である。

履修上の注意(発展科目との関連)

特記事項なし

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	I	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	・小論文の基礎知識と要約練習 ・社会問題について把握	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	中間考査							
	II	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	・分野別テーマについての小論文演習 ・社会問題について理解	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	13
	期末考査							
					1学期配当時間計			26
2 学期	III	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	・分野別テーマについての小論文演習 ・社会問題について思考	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	中間考査							
	IV	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	・各志望校に応じた小論文演習	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	期末考査							
					2学期配当時間計			30
3 学期	V	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	・各志望校に応じた小論文演習	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	4
学年末考査								
					3学期配当時間計			4
					年間配当時間計			60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
定期考査・休業中の課題等は実施しない。以下同じ							

教科:	地理歴史	科目名:	世界史演習	講座名:	世界史演習		
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修選択	形態:	選択者
使用教科書・補助教材:		『詳説世界史探究』山川出版 『タベストーリー』 帝国書院					
教科担当者:	川口 直弘						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色など、を、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

教科書と副教材・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の共同的な探究活動も積極的に取り組むこと。

社会事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュースなどを見る習慣をつける。
日本史や地理、倫理など他の地理歴史科・公民科の勉強との関連を意識する。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	諸地域の交 流・再編	【知識及び技能】	6.イスラーム教の伝播と西アジアの動向	【知識及び技能】				4
		【思考力、判断力、表現力等】	7.ヨーロッパ世界の変容と展開	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】				
	諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	8.東アジア世界の展開とモンゴル帝国 9. 大交易・大交流の時代	【知識及び技能】	○	○	○	8
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】				
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】				
諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	10.アジアの諸帝国の繁栄 11.近世ヨーロッパ世界の動向	【知識及び技能】	○	○	○	6	
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】					
	【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	12.産業革命と環大西洋革命	【知識及び技能】				8	
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○		
	【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
1学期配当時間計								26
2 学期	諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	14.アジア諸地域の動揺 15.帝国主義とアジアの民族運動	【知識及び技能】				7
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○	
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】				
	諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	16.第一次世界大戦と世界の変容 17.第二次世界大戦と新しい国際秩序 の形成	【知識及び技能】	○	○	○	12
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】				
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】				
	地球世界の 課題	【知識及び技能】	18.冷戦と第三世界の台頭 19.冷戦の終結と今日の世界	【知識及び技能】	○	○	○	6
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】				
【学びに向かう力、人間性等】			【学びに向かう力、人間性等】					
地球世界の 課題	【知識及び技能】	20.テーマ史と同時代史	【知識及び技能】				5	
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○		
	【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
2学期配当時間計								30

3 学 期		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・総復習及び大学入試問題演習	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○	○		4
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
なし	なし	夏期講習	なし	なし	なし	なし	なし

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	地理歴史		科目名:	世界史探究演習		講座名:	世界史探究演習	
年次:	3年次		単位数:	4		区分:	必修選択	
						形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:			『詳説世界史探究』山川出版 『タペストリー』 帝国書院					
教科担当者:			川口 直弘					

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色など、時期や年代、推定、相対、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自觉、歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

日常の学習方法

教科書と副教材・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の共同的な探究活動も積極的に取り組むこと。

履修上の注意(発展科目との関連)

社会事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュースなどを見る習慣をつける。
日本史や地理、倫理など他の地理歴史科・公民科の勉強との関連を意識する。

年間授業計画

年間授業計画									
	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	諸地域の交 流・再編	【知識及び技能】	6.イスラーム教の伝播と西アジアの動向	【知識及び技能】				17	
		【思考力、判断力、表現力等】	7.ヨーロッパ世界の変容と展開	【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○		
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
	諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	8.東アジア世界の展開とモンゴル帝国 9. 大交易・大交流の時代	【知識及び技能】				6	
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○		
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	10.アジアの諸帝国の繁栄 11.近世ヨーロッパ世界の動向	【知識及び技能】				16		
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○			
	【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】						
諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	12.産業革命と環大西洋革命	【知識及び技能】				13		
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○			
	【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】						
1学期配当時間計									52
2 学期	諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	14.アジア諸地域の動揺 15.帝国主義とアジアの民族運動	【知識及び技能】				12	
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○		
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
	諸地域の結 合・変容	【知識及び技能】	16.第一次世界大戦と世界の変容 17.第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【知識及び技能】				22	
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○		
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
	地球世界の 課題	【知識及び技能】	18.冷戦と第三世界の台頭 19.冷戦の終結と今日の世界	【知識及び技能】				14	
		【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○		
		【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】					
地球世界の 課題	【知識及び技能】	20.テーマ史と同時代史	【知識及び技能】				12		
	【思考力、判断力、表現力等】		【思考力、判断力、表現力等】	○	○	○			
	【学びに向かう力、人間性等】		【学びに向かう力、人間性等】						
2学期配当時間計									60

3 学 期		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・総復習及び大学入試問題演習	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○	○		8
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								8
年間配当時間計								120

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
なし	なし	夏期講習	なし	なし	なし	なし	なし

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	地理歴史		科目名:	日本史演習		講座名:	日本史演習	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		『日本史探究 詳説日本史』(山川出版社)、『最新日本史図表 五訂版』(第一学習社)、『日本史用語集』(山川出版社)						
教科担当者:		大谷 誠						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

日常の学習方法

教科書と副教材・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の共同的な探究活動も積極的に取り組むこと。

履修上の注意(発展科目との関連)

社会事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 世界史や地理、倫理など他の地理歴史科・公民科の勉強との関連を意識する。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	原始・古代史の復習と古代の文化	【知識及び技能】 推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究させる。	古墳時代の復習と飛鳥文化	【知識及び技能】 推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陆・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究している。	○	○	○	4
		【知識及び技能】 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察させ、政治や社会の動きとのつながりを見出させる。	律令国家形成の復習と白鳳文化・天平文化	【知識及び技能】 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察させ、政治や社会の動きとのつながりを見出している。	○	○	○	8
		【知識及び技能】 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	貴族政治の展開の復習と弘仁・貞観文化	【知識及び技能】 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○			6
		【知識及び技能】 大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解させる。	貴族政治の展開の復習と国風文化	【知識及び技能】 大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。				

		【思考力、判断力、表現力等】 国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出させる。		【思考力、判断力、表現力等】 国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出している。	○	○	○	8	
					1学期配当時間計				26
2 学 期	中世の文化	【知識及び技能】 公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけさせる。 経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察させ、表現させる。 室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察させ、根拠を明らかにして表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究させる。 室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出させる。	1 院政期の文化 2 鎌倉文化 3 室町文化	【知識及び技能】 公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。 室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究している。 室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出している。	○	○	○	7	
	近世の文化	【知識及び技能】 桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解させる。 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけさせる。 幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解させる。 政治・経済と文化の関係などに着目して、19世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察させ、表現させる。 近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察させ、表現させる。 幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察させ、表現させる。 近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察させ、表現させる。	1 安土桃山文化 2 江戸時代の文化	【知識及び技能】 桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。 政治・経済と文化の関係などに着目して、19世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	12	

		【学びに向かう力、人間性等】 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出させる。 幕藩体制が安定していく中での経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにさせる。 政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究させる。 近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出させる。		【学びに向かう力、人間性等】 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出している。 幕藩体制が安定していく中での経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしている。 政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究している。 近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出している。					
	近現代の文化	【知識及び技能】 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけさせる。 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察させ、表現させる。 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究させる。 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究させる。	1 明治時代の文化 2 大正時代・昭和初期の文化 3 占領期の文化	【知識及び技能】 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 学問・芸術・出版・マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 都市の発達、鉄道・駅の設置やその影響、工場の増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究している。 マスメディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究している。	○	○	○	6	
	共通テスト演習	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				5	
2学期配当時間計									30
3学期	総復習及び大学入試問題演習	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○	○		4	
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
3学期配当時間計									4
年間配当時間計									60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春)実施範囲等	1学期実力テスト実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏)実施範囲等	2学期実力テスト実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬)実施範囲等	3学期実力テスト実施範囲等
なし	なし	夏期講習	なし	なし	なし	なし	なし

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	地理歴史		科目名:	日本史探究演習		講座名:	日本史探究演習	
年次:	3年次	単位数:	4	区分:	必修選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		『日本史探究 詳説日本史』(山川出版社)、『最新日本史図表 五訂版』(第一学習社)、『日本史用語集』(山川出版社)						
教科担当者:		大谷 誠						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

日常の学習方法

教科書と副教材・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の共同的な探究活動も積極的に取り組むこと。

履修上の注意(発展科目との関連)

社会事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 世界史や地理、倫理など他の地理歴史科・公民科の勉強との関連を意識する。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
	武家政権の 成立	【知識及び技能】 宋・元などユーラシアとの交流などに着目しモンゴル襲来の際の国際的背景や国内政治への影響について理解させる。 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解させる。 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解させる。 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解させる。	第6章 武家政権の成立 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 4 戦国大名の登場	【知識及び技能】 宋・元などユーラシアとの交流などに着目しモンゴル襲来の際の国際的背景や国内政治への影響について理解している。 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。				
	武士社会の 成長	【思考力、判断力、表現力等】 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察させ、表現させる。 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察させ、表現させる。 自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察させ、表現させる。 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現させる。		【思考力、判断力、表現力等】 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。	○	○	○	17
		【学びに向かう力、人間性等】 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究させる。 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出させる。 室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究させる。 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究させる。		【学びに向かう力、人間性等】 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究している。 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出している。 室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究している。 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究している。				

1 学期	近世の幕開け	【知識及び技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察させ、時代を通観する問いを表現させる。	第8章 近世の幕開け 2 桃山文化	【知識及び技能】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	○	○	○	6
	幕藩体制の成立と展開	【知識及び技能】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解させる。 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解させる。 諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解させる。 産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察させ、表現させる。 新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現させる。 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察させ、表現させる。 陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察させ、根拠を示して表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察させ、主体的に追究させる。 織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察させ、そのつながりを見出させる。 幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究させる。 近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにさせる。	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展	【知識及び技能】 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究している。 織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出している。 幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究している。 近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしている。	○	○	○	16

		【知識及び技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解させる。 列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解させる。 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解させる。 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解させる。	第10 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 3 幕府の衰退と近代への道	【知識及び技能】 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。					
幕藩体制の動揺		【思考力、判断力、表現力等】 商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察させ、表現させる。 国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察させ、根拠を明らかにして表現させる。	第11章近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	【思考力、判断力、表現力等】 商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。	○	○	○	13	
近世から近代へ		【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究させる。 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究させる。 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究させる。 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出させる。		【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究している。 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究している。 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究している。 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出している。					
1学期配当時間計									52
		【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解させる。 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解させる。	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立	【知識及び技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。					
近代国家の成立		【思考力、判断力、表現力等】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察させ、表現させる。 国内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察させ、表現させる。		【思考力、判断力、表現力等】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 国内体制を欧米の水準に合わせるものが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	12	
		【学びに向かう力、人間性等】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究させる。 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究させる。		【学びに向かう力、人間性等】 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究している。 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究している。					

近代国家の展開 近代の産業と生活	【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解させる。 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や外交政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解させる。 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解させる。 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察させ、根拠を明らかにして表現させる。 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察させ、表現させる。 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察させ、表現させる。 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究させる。 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出させる。 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究させる。 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究させる。	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	【知識及び技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や外交政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 議会在戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察させ、表現させる。 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究している。 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出している。 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究している。 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究している。	○	○	○	22
	【知識及び技能】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解させる。 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と外交政策について理解させる。 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解させる。	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	【知識及び技能】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と外交政策について理解している。 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。				

2 学 期	恐慌と第二次世界大戦	【思考力、判断力、表現力等】 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察させ、根拠を明確にして表現させる。 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察させ、表現させる。 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察させ、根拠を示して表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究させる。 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究させる。 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究させる。	【思考力、判断力、表現力等】 ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究している。 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究している。 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究している。	○	○	○	14
	【知識及び技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解させる。 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解させる。 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解させる。 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取らせる。 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解させる。 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察させ、表現させる。 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察させ、その結果を根拠を明確にして表現させる。 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安条約・LT貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察させ、表現させる。 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察したりして、その結果を表現させる。 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察させ、その結果を表現させる。 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察させ、その結果を表現させる。	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	【知識及び技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義について理解している。 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取れている。 ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解させる。 冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 地域社会の変容にも留意しながら、占領の前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を根拠を明確にして表現している。 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安条約・LT貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。	○	○	○	12

		【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究させる。 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究させる。 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出させる。 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出させる。 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究させる。 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究させる。	【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究させる。 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究している。 55年体制の歴史的意義や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出している。 高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出している。 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究している。 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、自ら課題を見出して主体的に追究している。					
2学期配当時間計								60
3 学 期	総復習及び 大学入試問 題演習	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				8
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								8
年間配当時間計								120

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
なし	なし	夏期講習	なし	なし	なし	なし	なし

教科:	地理歴史		科目名:	地理演習		講座名:	地理演習	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:		
使用教科書・補助教材:		地理探究(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院) ウィニングコンパス地理の整理と演習(とうほう)						
教科担当者:		宮澤達也 有馬利一						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
テーマごとに世界を概観し、分布上の特色を把握し、その原因を考察することによって世界各地の地域の理解を深める。その際に、統計資料を理論に基づいて分析するなど地理的技能を身につけられるようにする。	共通テスト対策の指導を念頭において諸現象のメカニズムについて思考させ、そこで考察した内容を様々な資料を適切に用いて表現することが出来るようにする。	現代の世界像や地域像を構築した上で、身につけた地理的なものの方を見をもとに討議し、様々な立場の人々の対話を通じて理解、協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

教科書と副教材・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の共同的な探究活動も積極的に取り組むこと。

日常から地理的事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュースなどを見る習慣をつける。
歴史科目や公民、政治・経済など他の地理歴史科・公民科の勉強との関連を意識する。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	自然環境	【知識及び技能】 1年次の復習を兼ねて多面的・多角的に 【思考力、判断力、表現力等】 成因や分布などを考察し、自然災害と 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	自然環境	【知識及び技能】 地形や気候等を多面的・多角的に理 【思考力、判断力、表現力等】 成因や分布などを考察し、自然災害と 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	5
	資源と産業	【知識及び技能】 規則性や傾向を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 条件や変化などに注目して多面的・多 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	資源と産業	【知識及び技能】 規則性や傾向を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 条件や変化などに注目して多面的・多 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	7
	村落と都市	【知識及び技能】 諸事象の空間的な規則性や傾向など 【思考力、判断力、表現力等】 現状や要因、解決に向けた取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	村落と都市	【知識及び技能】 諸事象の空間的な規則性や傾向など 【思考力、判断力、表現力等】 現状や要因、解決に向けた取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	7
	人口	【知識及び技能】 諸事象の空間的な規則性や傾向など 【思考力、判断力、表現力等】 推移や分布、移動に注目して、解決に 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	人口	【知識及び技能】 現状や要因、解決に向けた取り組み 【思考力、判断力、表現力等】 推移や分布、移動に注目して、解決に 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	7
1学期配当時間計								26
2 学期	人種と民族	【知識及び技能】 民族問題の現状や要因、解決に向け 【思考力、判断力、表現力等】 衣食住や言語・宗教の地域性に注目 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	人種と民族	【知識及び技能】 民族問題の現状や要因、解決に向け 【思考力、判断力、表現力等】 衣食住や言語・宗教の地域性に注目 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	7
	国家と国家 群	【知識及び技能】 領土問題の現状や要因、解決に向 【思考力、判断力、表現力等】 国家の特徴や国家の結びつきなどに 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	国家と国家群	【知識及び技能】 領土問題の現状や要因、解決に向 【思考力、判断力、表現力等】 国家の特徴や国家の結びつきなどに 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	7
	地図と世界	【知識及び技能】 世界観の変化や図法について多面 【思考力、判断力、表現力等】 図法の変化などに注目して、その成立 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	地図と世界	【知識及び技能】 世界観の変化や図法について多面 【思考力、判断力、表現力等】 図法の変化などに注目して、その成立 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	7
	環境問題 国際化と情 報化 世界 の諸地域と 日本の地域 性	【知識及び技能】 現代世界の諸課題について、規則性 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の諸課題について、現状や 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	環境問題 国際化と情報化 世界の諸地域と日本の地域性	【知識及び技能】 現代世界の諸課題について、規則性 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の諸課題について、現状や 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	9
2学期配当時間計								30

3 学 期	問題演習	【知識及び技能】 問題演習を通して知識の再確認を行 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習を通して判断力を養おうとす 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	問題演習	【知識及び技能】 問題演習を通して知識の再確認を行 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習を通して判断力を養う態度 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	4
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
準備講習		夏期講習			冬期講習		

教科:	地理歴史	科目名:	地理探究	講座名:	地理探究		
年次:	3年次	単位数:	4	区分:	自由選択	形態:	
使用教科書・補助教材:		地理探究(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院) ウィニングコンパス地理の整理と演習(とうほう)地理用語集(山川出版社)					
教科担当者:	宮澤達也						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
テーマごとに世界を概観し、分布上の特色を把握し、その原因を考察することによって世界各地の地域の理解を深める。その際に、地形図の読図や、統計資料の分析など地理的技能を身につけられるようにする。	論述問題の指導を念頭において諸現象のメカニズムについて思考させ、そこで考察した内容を様々な資料を適切に用いて表現することが出来るようにする。	現代世界をとらえる一つの切り口として身につけた地理的なものを見方をもとに討議し、様々な立場の人々の対話を通じて理解、協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

教科書と副教材・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の共同的な探究活動も積極的に取り組むこと。

日常から地理的事象について興味関心を抱くために、日常から新聞やニュースなどを見る習慣をつける。
歴史科目や公民、政治・経済など他の地理歴史科・公民科の勉強との関連を意識する。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	自然環境	【知識及び技能】 1年次の復習を兼ねて多面的・多角的に 【思考力、判断力、表現力等】 成因や分布などを考察し、自然災害と 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	自然環境	【知識及び技能】 地形や気候等を多面的・多角的に理 【思考力、判断力、表現力等】 成因や分布などを考察し、自然災害と 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
	資源と産業	【知識及び技能】 規則性や傾向を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 条件や変化などに注目して多面的・多 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	資源と産業	【知識及び技能】 規則性や傾向を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 条件や変化などに注目して多面的・多 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
	村落と都市	【知識及び技能】 諸事象の空間的な規則性や傾向など 【思考力、判断力、表現力等】 現状や要因、解決に向けた取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	村落と都市	【知識及び技能】 諸事象の空間的な規則性や傾向など 【思考力、判断力、表現力等】 現状や要因、解決に向けた取り組み 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
	人口	【知識及び技能】 諸事象の空間的な規則性や傾向など 【思考力、判断力、表現力等】 推移や分布、移動に注目して、解決に 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	人口	【知識及び技能】 現状や要因、解決に向けた取り組み 【思考力、判断力、表現力等】 推移や分布、移動に注目して、解決に 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
1学期配当時間計								52
2 学 期	人種と民族	【知識及び技能】 民族問題の現状や要因、解決に向け 【思考力、判断力、表現力等】 衣食住や言語・宗教の地域性に注目 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	人種と民族	【知識及び技能】 民族問題の現状や要因、解決に向け 【思考力、判断力、表現力等】 衣食住や言語・宗教の地域性に注目 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
	国家と国家群	【知識及び技能】 領土問題の現状や要因、解決に向 【思考力、判断力、表現力等】 国家の特徴や国家の結びつきなどに 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	国家と国家群	【知識及び技能】 領土問題の現状や要因、解決に向 【思考力、判断力、表現力等】 国家の特徴や国家の結びつきなどに 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
	地図と世界	【知識及び技能】 世界観の変化や図法について多面 【思考力、判断力、表現力等】 図法の変化などに注目して、その成立 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	地図と世界	【知識及び技能】 世界観の変化や図法について多面 【思考力、判断力、表現力等】 図法の変化などに注目して、その成立 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
	環境問題 国際化と情 報化 世界 の諸地域と 日本の地域 性	【知識及び技能】 現代世界の諸課題について、規則性 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の諸課題について、現状や 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	環境問題 国際化と情報化 世界の諸地域と日本の地域性	【知識及び技能】 現代世界の諸課題について、規則性 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の諸課題について、現状や 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
国際化と情報化								60

3 学 期	問題演習	【知識及び技能】 問題演習を通して知識の再確認を行 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習を通して判断力を養おうとす 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究しよう	問題演習	【知識及び技能】 問題演習を通して知識の再確認を行 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習を通して判断力を養う態度 【学びに向かう力、人間性等】 各テーマについて主体的に追究でき	○	○	○	
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								8
年間配当時間計								120

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
準備講習		夏期講習			冬期講習		

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	公民		科目名:	倫理		講座名:	倫理	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修選択・自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		高等学校『新倫理』清水書院、『テオロリア最新倫理資料集』第一学習社、『実践攻略公共・倫理』実教出版						
教科担当者:		飯島 博久						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生き方や行為に関わる価値規範を先哲の考えから学び、現代社会の倫理的課題に取り組むための情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	存在や認識、倫理に関する先哲の思想を考察しながら、その思想を現代社会の諸課題にどう結び付けていくかを判断できるようにする。またそこで考察した内容を様々な資料を適切に用いて表現することが出来るようにする。	現代の諸課題を主体的に解決するために、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚やが求められることを確認し、様々な立場の人々の対話を通じて理解、協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

日常の学習方法

--

履修上の注意(発展科目との関連)

--

年間授業計画

単元名		具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	哲学の始原 ギリシャ思想	【知識及び技能】 哲学の期限としてのギリシャ思想の内容を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 古代ギリシャの思想について、現代との比較で考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代ギリシャ思想を学ぶ主体的な姿勢がみられる。	(1)神話から哲学に (2)ソクラテス、プラトン、アリストテレス (3)ヘレニズム時代の思想	【知識及び技能】 ギリシャ思想を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ギリシャ思想の現代的意義を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ギリシャ思想の意義を自覚している	○	○	○	6
	唯一神の宗教	【知識及び技能】 唯一神の宗教を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 唯一神の宗教と多神教の違いを考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 一神教の考え方について、主体的に学ぼうとしている。	(1)ユダヤ教 キリスト教 イスラーム	(2)【知識及び技能】 一神教の教えについて理解を深めている。 (3)【思考力、判断力、表現力等】 一神教の神と人間との関係を多神教のそれと比較検討している。 【学びに向かう力、人間性等】 一神教と多神教の違いが社会制度にどう出現するか探究している。	○	○	○	6
	東洋思想	【知識及び技能】 東洋思想を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東洋と西洋の神概念の違いを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 東洋思想が日本の思想に及ぼした影響を主体的に捉える。	(1)バラモン教 (2)仏教 (3)儒教 (4)老荘思想	【知識及び技能】 仏教や儒教の考えを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 仏教や儒教のあり方と自らの生き方を関連させて考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 東西の神や思想の違いを主体的に探究している。	○	○	○	6
	世界と人間 をめぐる探究	【知識及び技能】 近代西洋思想を全体として理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 神の視点から人間の視点に中心が移り変わっていることを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間と社会のあり方を探究する。	(1)ルネサンスと宗教改革 (2)近代科学と経験論・合理論 (3)社会契約論	【知識及び技能】 ルネサンスに始まる西洋近代思想を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 中世ヨーロッパと近代ヨーロッパの違いを倫理的に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会契約論を倫理と政治経済をリンクさせて捉えようとしている。	○	○	○	8
	1学期配当時間計							
	現代社会と 個人	【知識及び技能】 ドイツ観念論から実存主義に至る流れを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 義務論と功利主義の違いを具体的事例で判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 実存主義で捉えられた人間像を自の生き方にむすびつける。	(1)ドイツ観念論 (2)功利主義と社会主義 (3)実存主義	【知識及び技能】 観念論から実存主義に至る先哲の思想を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 義務論と功利主義が現代社会の諸課題でどう結びつくのか考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 キルケゴールからサルトルにいたる人間像を主体的に探究している。	○	○	○	8

2 学 期	西洋現代思想	【知識及び技能】 現代思想の潮流を理性主義との関係で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代思想が、近代理性主義をどのように批判しているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代思想を今日的な課題の中で主体的に探究する。	(1)プラグマティズム (2)フランクフルト学派 (3)構造主義 (4)公共性と正義 (5)言語論的転回 (6)現代のヒューマニズム	【知識及び技能】 現代思想を分野ごとに理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの現代思想が、いかに現代の課題に結びつくかを考察している。 今日の我々の生活と現代思想を関連付けようとしている。	○	○	○	8	
	日本人の人間観・宗教観	【知識及び技能】 古代日本人の自然観や宗教観を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本人の伝統的な考えと、外来の仏教がどう融合したかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 平安仏教と鎌倉仏教について、主体的に学ぶ。	(1)古代日本人の自然観と神 (2)仏教の受容 (3)鎌倉仏教	【知識及び技能】 古代日本人の考えや、日本仏教の創始者について学んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 平安仏教と鎌倉仏教の違いについて、考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本と仏教の関わりを主体的に探究している。				8	
	日本の近代化と人々の生き方	【知識及び技能】 儒学に根を持つ江戸期の思想と、明治以降の西洋思想を表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治期、主体性を中心の西洋思想を日本人が受容したことを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本現代の思想を積極的に考察しようとする。	(1)江戸期の思想 (2)西洋思想の摂取 (3)近代的個人の模索	【知識及び技能】 江戸期並びに、明治期以降の思想家を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 明治期の思想がその後の日本の近代史に及ぼした影響を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代思想を自分の生き方あり方に取り入れようとしている。				6	
2学期配当時間計									30
3 学 期	自己の課題と現代の諸課題	【知識及び技能】 青年期における自己の課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生命倫理、環境倫理について具体的事例で考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の倫理的課題について主体的に探究する。	(1)自己の課題(心理学) (2)生命・環境・情報倫理 (3)課題探究	【知識及び技能】 青年期の課題を自らの課題として表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題が倫理的にどう問われているのか、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の課題を自ら見つけ、探究している。				4	
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
3学期配当時間計									4
年間配当時間計									60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春)実施範囲等	1学期実力テスト実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏)実施範囲等	2学期実力テスト実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬)実施範囲等	3学期実力テスト実施範囲等
なし	なし	レポート等	なし	なし	レポート等	なし	なし

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	公民		科目名:	政治・経済		講座名:	政治・経済	
年次:	3年次	単位数:	2		区分:	自由選択	形態:	選択者
使用教科書・補助教材:		『詳説 政治・経済』実教出版、『最新図説 政経』 浜島書店、						
教科担当者:		飯島 博久 長谷川 聡						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題にはいかなるものがあるかについて知識を深めたうえで、その解決のために諸資料の情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会の諸課題に存在する価値の対立を踏まえ、そのなかでよりよい決定に向けて主体的に判断することができるようにする。またそこで考察した内容を様々な資料を適切に用いて表現することが出来るようにする。	現代の諸課題を主体的に解決するために、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚やが求められることを確認し、様々な立場の人々との対話を通じて理解、協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

日常の学習方法

--

履修上の注意(発展科目との関連)

--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代の国際政治	【知識及び技能】 国際政治の諸課題について知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 国際政治の諸課題の解決方法について、諸資料を基に考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際政治の諸課題を主体的に追究しようとしている。	1国際法と国際連合 2国際政治史 3核軍縮 4国際紛争と難民	【知識及び技能】 国際政治の諸課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国際政治の諸課題の解決方法について議論を通じて考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における対話と協力の意義を理解している。	○	○	○	6
	現代の国際経済	【知識及び技能】 国際経済の諸課題について知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 国際経済の諸課題の解決方法について、諸資料を基に考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際経済の諸課題を主体的に追究しようとしている。	1自由貿易と国際収支 2国際経済体制 3経済のグローバル化と地域統合 4地球環境問題	【知識及び技能】 国際経済の諸課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国際経済の諸課題の解決方法について議論を通じて考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会における対話と協力、自由貿易を進める意義を理解している。	○	○	○	6
	民主政治の基本原則	【知識及び技能】 民主政治の基本原則について知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の基本原則について、諸資料を基に考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治の基本原則についての在り方を主体的に追究しようとしている。	1政治と法 2民主政治と人権保障 3世界の政治体制 4日本国憲法の三大基本原則	【知識及び技能】 民主政治の基本原則について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の基本原則について議論を通じて考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治の基本原則の在り方や意義を追究しようとしている。	○	○	○	6
	日本の統治機構	【知識及び技能】 民主政治の基本原則について知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の基本原則について、諸資料を基に考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治の基本原則についての在り方を主体的に追究しようとしている。	1国会内閣裁判所 2戦後日本政治史 3政治参加と選挙	【知識及び技能】 民主政治の基本原則について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治の基本原則について議論を通じて考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 民主政治の基本原則の在り方や意義を追究しようとしている。	○	○	○	8
1学期配当時間計								26
	経済社会の変容	【知識及び技能】 経済社会の変容について経済理論と歴史的展開の知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 経済社会の変容について、諸資料を基に歴史的展開とこれからの在り方について考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 経済社会の変容についての学びを基に、今後の在り方を主体的に追究しようとしている。	1経済活動の意義 2経済社会の形成と変容 3市場機構と企業	【知識及び技能】 経済社会の変容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 経済社会の変容について議論を通じて歴史的展開についての考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 経済社会の変容の理解を通じて、今後の経済の在り方を追究しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	現代経済のしくみ	【知識及び技能】 現代経済のしくみについて経済理論をもとに知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代経済のしくみについて、諸資料を基に経済の現状について説明できる力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代経済のしくみについて主体的に追究しようとしている。	1経済成長 2金融と財政の仕組み	【知識及び技能】 現代経済のしくみについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代経済のしくみについて議論を通じて考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代経済のしくみや理論について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8	
	現代経済と福祉の向上	【知識及び技能】 現代経済と福祉の向上について具体的な諸課題の知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代経済と福祉の向上について、諸資料を基に経済の現状について説明できる力を高めている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代経済と福祉の向上について主体的に追究しようとしている。	1日本経済史 2中小企業・農業・労働問題 3環境保全と公害防止 4社会保障の役割	【知識及び技能】 現代経済と福祉の向上について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代経済と福祉の向上について議論を通じて具体的な諸課題についての考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 現代経済と福祉の向上について解決策を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8	
	共通テスト対策演習	【知識及び技能】 政治経済の全範囲について具体的な諸課題の知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 政治経済の全範囲についてについて、諸資料を基に正答を導き出す力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 政治経済の全範囲について主体的に追究しようとしている。	過去問を用いた問題演習	【知識及び技能】 政治経済の全範囲について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 政治経済の全範囲についてデータの読み取り問を正確に解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 政治経済の全範囲について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6	
2学期配当時間計									30
3 学 期	共通テスト対策演習	【知識及び技能】 政治経済の全範囲について具体的な諸課題の知識を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 政治経済の全範囲についてについて、諸資料を基に正答を導き出す力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 政治経済の全範囲について主体的に追究しようとしている。	過去問を用いた問題演習	【知識及び技能】 政治経済の全範囲について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 政治経済の全範囲についてデータの読み取り問を正確に解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 政治経済の全範囲について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4	
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】					
3学期配当時間計									4
年間配当時間計									60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
なし	なし	レポート等	なし	なし	レポート等	なし	なし

教科:	数学	科目名:	数学Ⅲ	講座名:	数学Ⅲ		
年次:	3年次	単位数:	4	区分:	必修選択	形態:	選択者
使用教科書・補助教材:	数学Ⅲ（数研出版）チャート式基礎からの数学Ⅲ＋C 練習ドリル数学Ⅲ 重要問題集数学ⅠⅡⅢABC(理系)（数研出版）						
教科担当者:	坂本 太一 ・ 西 志穂						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限・微分・積分の分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	極限・微分・積分の分野について論理的に考察する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

①授業 教科書を利用した講義と演習を行う。

②家庭学習 授業の予習・復習を主とし、教科書傍用問題集や参考書などの類題を日々解いていくことが必要。

大学入試を理系科目で受験する者のほとんどが「数学Ⅲ・数学C」が必修であることから、理系入試では、頻出の単元が数学Ⅲ・Cに多くあることから、基礎的な内容を学習した後に、実践的な演習を行います。早いペースに対応できるように、予習・復習を怠らず教科書と問題集を確実に習得してください。特に、教科傍用の問題集は、受験に必要な最低限の内容で構成されています。

なお、個々の進度や能力に応じて丁寧に指導し、苦手意識を持つことがないように配慮します。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	微分法とそ の応用	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。	微分法とその応用について基礎的な内容の復習、および標準問題の反復練習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。	○	○	○	28
	積分法	【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	積分法について基礎的な内容の復習、および標準問題の反復練習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。	○	○	○	24
1学期配当時間計								52
2 学 期	積分法の応 用	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。	積分法とその応用について基礎的な内容の復習、および標準問題の反復練習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。	○	○	○	30
	総合問題演 習	【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	発展的な内容の確認、および解答の論述を重視した発展問題の演習を行う。 大学入学共通テスト形式による問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。	○	○	○	30
2学期配当時間計								60

3 学 期	総合問題演習	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	発展的な内容の確認、および解答の論述を重視した発展問題の演習を行う。 大学入学共通テスト形式による問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることが	○	○	○	8
3学期配当時間計								8
年間配当時間計								120

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	中間考査 微分法とその応用 期末考査 積分法	夏季講習		中間考査 積分法の応用 期末考査 数学ⅢC全範囲	冬季講習		

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	数学		科目名:	数学C		講座名:	数学C	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		数学C（数研出版）チャート式基礎からの数学Ⅲ＋C 練習ドリル数学Ⅲ 重要問題集数学ⅠⅡⅢABC（理系）（数研出版）						
教科担当者:		坂本 太一 ・ 西 志穂						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル・複素数平面・式と曲線の分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	ベクトル・複素数平面・式と曲線の分野について論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

日常の学習方法

①授業 教科書を利用した講義と演習を行う。
②家庭学習 授業の予習・復習を主とし、教科書傍用問題集や参考書などの類題を日々解いていくことが必要。

履修上の注意(発展科目との関連)

大学入試を理系科目で受験する者のほとんどが「数学Ⅲ・数学C」が必修であることと、理系入試では、頻出の単元が数学Cに多くあることから、基礎的な内容を学習した後に、実践的な演習を行います。早いペースに対応できるように、予習・復習を怠らず教科書と問題集を確実に習得してください。特に、教科傍用の問題集は、受験に必要な最低限の内容で構成されています。 なお、個々の進度や能力に応じて丁寧に指導し、苦手意識を持つことがないように配慮します。
--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	総合問題演習	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	これまで学習した内容について横断的に取り扱い、発展問題の演習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることが	○	○	○	14
	複素数平面	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	複素数平面について基礎的な内容の復習、および標準問題の反復練習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることが	○	○	○	12
1学期配当時間計								26
2 学期	複素数平面	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	複素数平面について基礎的な内容の復習、および標準問題の反復練習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることが	○	○	○	8
	式と曲線	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	式と曲線について基礎的な内容の復習、および標準問題の反復練習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることが	○	○	○	12

	総合問題演習	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	発展的な内容の確認、および解答の論述を重視した発展問題の演習を行う。 大学入学共通テスト形式による問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることが	○	○	○	10
2学期配当時間計								30
3学期	総合問題演習	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	発展的な内容の確認、および解答の論述を重視した発展問題の演習を行う。 大学入学共通テスト形式による問題演習を行う。	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることが	○	○	○	4
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	中間考査 発展的問題 期末考査 複素数平面	夏季講習		中間考査 式と曲線 期末考査 数学ⅢC全範囲	冬季講習		

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	数学		科目名:	文系数学		講座名:	文系数学	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	習熟度別	
使用教科書・補助教材:		数学Ⅰ 数学A 数学Ⅱ 数学B 数学C（数研出版）						
教科担当者:		加藤義彦, 中根聖司						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1. 2年次で学習したすべての分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	1. 2年次で学習したすべての分野について論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

日常の学習方法

①予習 教科書や問題集などで指定範囲の試験勉強としての予習を行う。 ②授業 講義、テスト形式の演習を主とする。テスト形式の演習において正答できなかった部分を理解し、習得するように努める。 ③復習 (1)授業の復習をするとともに、さらなる演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。 (2)発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。

履修上の注意(発展科目との関連)

大学入試問題に対応する応用育成が主眼となるため、十分な予習復習が前提となる。テスト形式での実践演習で自身の到達度を確認し、その後の復習で理解を深める。参考書等を活用して、自ら調べて考える姿勢を養う。なお、個々の進度や能力に応じて丁寧に指導し、苦手意識を持つことがないように配慮する。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1年次の復習 微分法・積分法 三角関数 指数・対数関数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	1年次の復習 微分法・積分法 三角関数 指数・対数関数	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	14
	図形と式 ベクトル 数列 確率 整数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	図形と式 ベクトル 数列 確率 整数	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	12
1学期配当時間計								26
2 学期	数学ⅠAⅡBC全範囲 共通テスト・二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	入試問題等補充課題	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	30
2学期配当時間計								30

3 学 期	数学ⅠAⅡBC全範囲 共通テスト・ 二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	入試問題等補充課題	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	4
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	中間考査 1年次の復習 微分法・積分法 三角関数 指数・対数関数 期末考査 図形と式 ベクトル 数列 確率 整数	夏季講習		数学ⅠAⅡBC全範囲	冬季講習		

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	数学		科目名:	理系数学演習		講座名:	理系数学演習	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		数学Ⅰ 数学A 数学Ⅱ 数学B 数学C（数研出版）・重要問題集数学ⅠⅡⅢABC(理系)(数研出版)・共通テスト対策重要問題演習数学(ラーンズ)						
教科担当者:		加倉井 祐司 西 志穂						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1. 2年次で学習したすべての分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	1. 2年次で学習したすべての分野について論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

日常の学習方法

①予習 教科書や問題集などで指定範囲の試験勉強としての予習を行う。 ②授業 講義、テスト形式の演習を主とする。テスト形式の演習において正答できなかった部分を理解し、習得するように努める。 ③復習 (1)授業の復習をするとともに、さらなる演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。 (2)発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。

履修上の注意(発展科目との関連)

大学入試問題に対応する応用力育成が主眼となるため、十分な予習復習が前提となる。テスト形式での実践演習で自身の到達度を確認し、その後の復習で理解を深める。参考書等を活用して、自ら調べて考える姿勢を養う。なお、個々の進度や能力に応じて丁寧に指導し、苦手意識を持つことがないように配慮する。
--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1年次の復習 微分法・積分法 三角関数 指数・対数関数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	1年次の復習 微分法・積分法 三角関数 指数・対数関数	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	14
	図形と式 ベクトル 数列 確率 整数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	図形と式 ベクトル 数列 確率 整数	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	12
					1学期配当時間計			26
2 学期	数学ⅠAⅡBC全範囲 共通テスト・二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	入試問題等補充課題	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	30
					2学期配当時間計			30

3 学 期	数学ⅠAⅡBC全範囲 共通テスト・ 二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	入試問題等補充課題	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	4
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	中間考査 1年次の復習 微分法・積分法 三角関数 指数・対数関数 期末考査 図形と式 ベクトル 数列 確率 整数	夏季講習		数学ⅠAⅡBC全 範囲	冬季講習		

教科:	数学	科目名:	数学ⅡⅡ 演習	講座名:	数学ⅡⅡ 演習		
年次:	3年次	単位数:	4	区分:	必修選択	形態:	選択者
使用教科書・補助教材:		数学重要問題 数学ⅡⅡABC〔ベクトル〕(数研出版)					
教科担当者:	中根 聖司						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式や関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

①予習 教科書などの予習を行い、疑問点を明確にする。
②授業 講義、演習を主として学習する。予習での疑問点が解消するように努め、数学的な内容の理解を図る。
③復習 (1)授業の復習をするとともに、演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。
(2)発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。

難関大学の入学試験に向けて、基本事項を確実に理解するとともに、解答に至るまでの論拠を正確に記述する力を養う必要がある。したがって、演習問題は必ず予習をし、自らの考えを記述した上で授業に臨むこと、課題は必ず提出すること。また、基本的な知識・技能を確実に習得していることを確認するため、随時小テストを行う。個々の進捗や能力に応じて丁寧に指導し、苦手意識を持つことがないように配慮する。

単元名		具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	数と式 関数と方程式・不等式 式と証明 整数の性質	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	数と式 関数と方程式・不等式 式と証明 整数の性質	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	26
	場合の数・確率 図形の性質 図形と式 三角比・三角関数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	場合の数・確率 図形の性質 図形と式 三角比・三角関数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	26

1学期配当時間計 52

2 学 期	指数関数・ 対数関数 微分法 積分法 数列 ベクトル データの分 析 統計的な推 測	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理 解し、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりする技能 を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したり する力を養う。数式を用いて論述する力を 養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深 めようとする態度を養う。	指数関数・対数関数 微分法 積分法 数列 ベクトル データの分析 統計的な推測	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理 解し、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりするこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したり する方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深 めることができる。	○	○	○	30
	数学ⅠⅡⅢ BC全範囲 共通テスト・ 二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理 解し、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりする技能 を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したり する力を養う。数式を用いて論述する力を 養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深 めようとする態度を養う。	入試問題等補充課題 数学ⅠⅡⅢBC全範囲 共通テスト・二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理 解し、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりするこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したり する方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深 めることができる。	○	○	○	30
2学期配当時間計								60
3 学 期	数学ⅠⅡⅢ BC全範囲 共通テスト・ 二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理 解し、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりする技能 を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したり する力を養う。数式を用いて論述する力を 養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深 めようとする態度を養う。	入試問題等補充課題 数学ⅠⅡⅢBC全範囲 共通テスト・二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理 解し、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりするこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したり する方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深 めることができる。	○	○	○	8
	3学期配当時間計							
年間配当時間計								120

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	1学期中間考査 1学期期末考査 数学ⅠⅡABC 全範囲	夏期講習 課題		2学期中間考査 2学期期末考査 数学ⅠⅡABC 全範囲	冬期講習 課題		

教科:	数学		科目名:	数学総合演習		講座名:	数学総合演習	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		数学Ⅰ 数学A 数学Ⅱ 数学B 数学C (数研出版)・システム数学入試必修問題集 実践 難関国公立大学編 4th Edition 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B (啓林館)						
教科担当者:	坂本 太一 寺島 求 井手 亮太							

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1. 2年次で学習したすべての分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したし、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	1. 2年次で学習したすべての分野について論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論証に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

① 予習	テキストの指定範囲の予習を行う。
② 授業	講義形式の演習を主とする。予習でできなかった部分を理解し、習得するように努める。
③ 復習	(1) 授業の復習をするともに、さらなる演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。 (2) 発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。

大学入試問題に対応する応用力育成が主眼となるため、十分な予習復習が前提となる。予習で自身の到達度を確認し、講義や復習で理解を深める。参考書等を活用して、自ら調べて考える姿勢を養う。難関国公立大志望者向け講座のため、辛抱強く取り組み、習得することが必要となる。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	関数のグラフ 方程式 図形と式	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	関数のグラフ 2次方程式・高次方程式 図形と式・軌跡と領域	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	14	
	図形と式 数列 指数関数と対数関数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	軌跡と領域 数列 数学的帰納法 指数関数と対数関数	【知識・技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 事象を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	12	
1学期配当時間計									26
2 学期	ベクトル 図形総合 数学ⅠAⅡBベクトル全範囲問題演習	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	平面上のベクトル 空間のベクトル 図形総合問題 入試問題等補充課題	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	30	
2学期配当時間計									30

3 学 期	数学ⅠAⅡ BC全範囲 二次対策	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。数式を用いて論述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	入試問題等補充課題	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 解法の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。	○	○	○	4
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
		夏季講習			冬季講習		

都立新宿高等学校 令和6年度（2024年度）シラバス

教科：	数学		科目名：	数学特講		講座名：	数学特講			
年次：	3年次		単位数：	2	区分：	自由選択		形態：	選択者	
使用教科書・補助教材：			2025 共通テスト対策 実力養成 重要問題演習 数学 ・ 2025 共通テスト対策 実力養成 直前演習数学ⅠA・ⅡB							
教科担当者：		中根聖司 二科洋太								

科目（講座）の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAⅡBCのすべての分野について、数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学ⅠAⅡBCのすべての分野について、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学ⅠAⅡBCのすべての分野について、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

日常の学習方法

①予習 教科書などの予習を行い、疑問点を明確にする。 ②授業 講義、演習を主として学習する。予習での疑問点が解消するように努め、数学的な内容の理解を図る。 ③復習 (1)授業の復習をするとともに、演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。 (2)発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。

履修上の注意（発展科目との関連）

①授 業 問題集などを利用した講義と演習を行う。 ②家庭学習 授業の予習・復習を主とし、問題集や参考書などの類題を日々解いていくことが必要。 ※大学入試、特に大学入試共通テストの出題内容の基本を学ぶ、という意味でも極めて重要な科目である。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容（領域）	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○数学ⅠA ・数と式 ・二次関数 ・図形と計量 ・データの分析	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅠA ・数と式 ・二次関数 ・図形と計量 ・データの分析	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	8
	○数学ⅡB ・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数 ・対数関数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅡB ・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数 ・対数関数	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	6
	○数学ⅠA ・場合の数と確率 ・図形の性質	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅠA ・場合の数と確率 ・図形の性質	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	6
	○数学ⅡB ・微分法・積分法 ・数列 ・統計的な推測 ・ベクトル ・複素数平面 ・平面上の曲線	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅡB ・微分法・積分法 ・数列 ・統計的な推測 ・ベクトル ・複素数平面 ・平面上の曲線	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	6
1学期配当時間計								26
2 学	○数学ⅠA ・数と式 ・二次関数 ・図形と計量 ・データの分析 ・場合の数と確率 ・整数の性質 ・図形の性質	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅠA ・数と式 ・二次関数 ・図形と計量 ・データの分析 ・場合の数と確率 ・整数の性質 ・図形の性質	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	8
	○数学ⅡB ・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数 ・対数関数 ・微分法・積分法 ・数列 ・統計的な推測 ・ベクトル ・複素数平面 ・平面上の曲線	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅡB ・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数 ・対数関数 ・微分法・積分法 ・数列 ・統計的な推測 ・ベクトル ・複素数平面 ・平面上の曲線	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	8

1 期	○数学ⅠA ・数と式 ・二次関数 ・図形と計量 ・データの分析 ・場合の数と確率 ・整数の性質 ・図形の性質	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅠA ・数と式 ・二次関数 ・図形と計量 ・データの分析 ・場合の数と確率 ・整数の性質 ・図形の性質	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	8
	○数学ⅡB ・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数 ・対数関数 ・微分法・積分法 ・数列 ・統計的な推測 ・ベクトル ・複素数平面 ・平面上の曲線	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅡB ・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指数関数 ・対数関数 ・微分法・積分法 ・数列 ・統計的な推測 ・ベクトル ・複素数平面 ・平面上の曲線	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	6
2学期配当時間計								30
3 学 期	○数学ⅠA・数学ⅡB全範囲	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○数学ⅠA・数学ⅡB全範囲	【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学の有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。	○	○	○	4
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春)	1学期実力テスト	夏季休業期間	特別考査(夏)	2学期実力テスト	冬季休業期間	特別考査(冬)	3学期実力テスト
		夏期講習					

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	理科		科目名:	物理		講座名:	物理 α	
年次:	3年次	単位数:	6	区分:	必修選択・自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		高等学校 総合物理1・2(数研出版)、センサー総合物理、WINSTEP物理、物理必修問題集						
教科担当者:		小室、竹内、土生川						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。自ら学習を調整しようとしているか。

日常の学習方法

基礎事項(理論)の定着をプリントや演習問題などを通して図る。 実験(思考実験)や観察を通して身の回りの事象に興味関心を持たせる。

履修上の注意(発展科目との関連)

--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	円運動と万有引力	【知識及び技能】 円運動、慣性力、単振動、万有引力に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	円運動 慣性力 単振動 万有引力	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	24
	気体とエネルギーと状態変化	【知識及び技能】 気体の分子運動論、気体の状態変化に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	気体の法則 気体分子の運動 気体の状態変化	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	18
	電場	【知識及び技能】 静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサに関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	静電気力 電場 電位 物質と電場 コンデンサ	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	12
		【知識及び技能】 直流回路、半導体に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	オームの法則 直流回路 半導体	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し、表現することができる。				

	電流	【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。						○	○	○	12
	電流と磁場	【知識及び技能】 磁場、電流のつくる磁場、電流が磁場から受ける力、ローレンツ力に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	磁場 電流のつくる磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力					○	○	○	12
								1学期配当時間計			78
2 学 期	電磁誘導と電磁波	【知識及び技能】 電磁誘導の法則、自己誘導と相互誘導、交流の発生、交流回路、電磁波に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流の発生 交流回路 電磁波					○	○	○	6
	原子と光	【知識及び技能】 電子、光の粒子性、X線、粒子の波動性に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	電子 光の粒子性 X線 粒子の波動性					○	○	○	12
	原子と原子核	【知識及び技能】 原子の構造とエネルギー順位、原子核、放射線とその性質、核反応と核エネルギー、素粒子に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	原子の構造とエネルギー順位 原子核 放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子					○	○	○	12
	記述対策	【知識及び技能】 大学入試問題において適切な答案を作成できるようになっているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	添削指導					○	○	○	60
								○	○	○	12
								○	○	○	12
								2学期配当時間計			90

3 学 期	記述対策	【知識及び技能】 大学入試問題において適切な答案を作成できるようになっているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	添削指導	【知識及び技能】 大学入試問題において適切な答案を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	12
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								12
年間配当時間計								180

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

教科:	理科	科目名:	化学	講座名:	化学		
年次:	3年次	単位数:	6	区分:	必修選択	形態:	選択者
使用教科書・補助教材:		「高等学校化学」(第一学習社)、「セミナー化学基礎+化学」(第一学習社)、「化学重要問題集」(数研出版)、「ニューステージ化学図表」(浜島書店)					
教科担当者:	松本隆行、皆川優美						

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

復習を中心に行い、必要に応じて問題演習を行う。

なし

[illegible]

3 学 期	総合問題演習	【知識及び技能】 化学の概念や原理・法則を総合的に 【思考力、判断力、表現力等】 総合的な問題演習を通して化学的な 【学びに向かう力、人間性等】 総合的な問題演習を通して化学的な	総合問題演習	【知識及び技能】 化学の概念や原理・法則を総合的に 【思考力、判断力、表現力等】 総合的な問題演習を通して化学的な 【学びに向かう力、人間性等】 総合的な問題演習を通して化学的な	○	○	○	12
3学期配当時間計								12
年間配当時間計								180

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
課題と確認テスト		夏期講習	課題と確認テスト		冬期講習		

教科:	理科	科目名:	生物	講座名:	生物 α	生物 β
年次:	3年次	単位数:	6	区分:	必修選択・自由選択	形態: 選択者
使用教科書・補助教材:		「高等学校 生物」(第一学習社)「セミナー生物基礎+生物」(第一学習社)「新課程二訂版 スクエア最新図説生物」(第一学習社)				
教科担当者:	渡邊正治					

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。

単に重要語句などを暗記するのではなく、用語の意味、各学習項目の要点、実験の概要と結果から何が言えるのかを説明できるように学習を進める。その際、図説を見ながら学習を進め、教科書や入試問題の説明文を読んだときにイメージ図が頭に浮かぶようにする。授業内に考えながら知識・概念を獲得して欲しいので、復習中心でよいが、事前に教科書を読んでから授業を受けた方が理解が進むのであれば、予習を行う。各小単元が終了することに該当範囲の問題演習をすることを習慣づける。観察・実験を通して探究の過程を学び、データに基づいた考察がなされたポスターを作成する。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生物の進化	【知識及び技能】 生物の進化について、その特徴やは 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察や実験な 【学びに向かう力、人間性等】 生物の進化に関する学習に主体的に	・生命の起源と細胞の進化 ・遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 ・進化のしくみ	【知識及び技能】 生物の進化について、その特徴やは 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察や実験な 【学びに向かう力、人間性等】 生物の進化に関する学習に主体的に	○	○	○	20
	生物の系統と進化	【知識及び技能】 生物の系統と進化について、その特 【思考力、判断力、表現力等】 生物の系統と進化について、観察や 【学びに向かう力、人間性等】 生物の系統と進化に関する学習に主	・生物の系統 ・人類の系統と進化	【知識及び技能】 生物の系統と進化について、その特 【思考力、判断力、表現力等】 生物の系統と進化について、観察や 【学びに向かう力、人間性等】 生物の系統と進化に関する学習に主	○	○	○	14
	細胞と分子	【知識及び技能】 細胞と分子について、その特徴やはた 【思考力、判断力、表現力等】 細胞と分子について、観察や実験など 【学びに向かう力、人間性等】 細胞と分子に関する学習に主体的に	・生物物質と細胞 ・タンパク質の構造と性質 ・生命現象とタンパク質	【知識及び技能】 細胞と分子について、その特徴やはた 【思考力、判断力、表現力等】 細胞と分子について、観察や実験など 【学びに向かう力、人間性等】 細胞と分子に関する学習に主体的に	○	○	○	20
	代謝、 遺伝情報と その発現	【知識及び技能】 代謝及び遺伝情報の発現について、 【思考力、判断力、表現力等】 代謝及び遺伝情報の発現について、 【学びに向かう力、人間性等】 代謝及び遺伝情報の発現に関する学	・代謝とエネルギー ・炭酸同化 ・異化 ・DNAの複製 ・遺伝子の発現	【知識及び技能】 代謝及び遺伝情報の発現について、 【思考力、判断力、表現力等】 代謝及び遺伝情報の発現について、 【学びに向かう力、人間性等】 代謝及び遺伝情報の発現に関する学	○	○	○	24
1学期配当時間計								78
2 学期	遺伝子の発現調節と発生 遺伝子を扱う技術とその応用	【知識及び技能】 遺伝子の発現調節と発生及び遺伝子 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子の発現調節と発生及び遺伝子 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子の発現調節と発生及び遺伝子を扱う技術に関する学習に主体的に	・遺伝子の発現調節 ・発生と遺伝子の発現 ・遺伝子を扱う技術 ・遺伝子を扱う技術の応用	【知識及び技能】 遺伝子の発現調節と発生及び遺伝子 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子の発現調節と発生及び遺伝子 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子の発現調節と発生及び遺伝子を扱う技術に関する学習に主体的に	○	○	○	26
	動物の反応と行動、 植物の成長と環境応答	【知識及び技能】 動物の反応と行動及び植物の成長と 【思考力、判断力、表現力等】 動物の反応と行動及び植物の成長と 【学びに向かう力、人間性等】 動物の反応と行動及び植物の成長と	・刺激の受容と反応 ・動物の行動 ・植物と環境 ・植物の一生と植物ホルモン	【知識及び技能】 動物の反応と行動及び植物の成長と 【思考力、判断力、表現力等】 動物の反応と行動及び植物の成長と 【学びに向かう力、人間性等】 動物の反応と行動及び植物の成長と	○	○	○	32
	生態系のしくみと人間の関わり	【知識及び技能】 生態系のしくみと人間の関わりについ 【思考力、判断力、表現力等】 生態系のしくみと人間の関わりについ 【学びに向かう力、人間性等】 生態系のしくみと人間の関わりに主体	・個体群と生物群集 ・生態系の物質生産と消費 ・生態系と人間生活	【知識及び技能】 生態系のしくみと人間の関わりについ 【思考力、判断力、表現力等】 生態系のしくみと人間の関わりについ 【学びに向かう力、人間性等】 生態系のしくみと人間の関わりに関する	○	○	○	24
	共通テスト 対策演習	【知識及び技能】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【思考力、判断力、表現力等】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【学びに向かう力、人間性等】 生物学の基本的な概念や原理・法則	「生物」の全範囲	【知識及び技能】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【思考力、判断力、表現力等】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【学びに向かう力、人間性等】 生物学の基本的な概念や原理・法則	○	○	○	8
2学期配当時間計								90

3 学 期	記述式問題 演習	【知識及び技能】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【思考力、判断力、表現力等】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【学びに向かう力、人間性等】 生物学の基本的な概念や原理・法則	「生物」の全範囲	【知識及び技能】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【思考力、判断力、表現力等】 生物学の基本的な概念や原理・法則 【学びに向かう力、人間性等】 生物学の基本的な概念や原理・法則	○	○	○	8
3学期配当時間計								8
年間配当時間計								176

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
2年次の「生物基礎」の全範囲を振り返るプリントによる学習	遺伝の問題に関するオンデマンド補習	頻出の計算問題を扱う夏期講習		神経系の頻出問題に関する補習			

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	理科		科目名:	物理基礎演習		講座名:	物理基礎演習	
年次:	3年次	単位数:	1	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		物理基礎(数研出版), 大学入学共通テスト対策 チェック&演習 物理基礎						
教科担当者:		土生川						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識の習得や知識の概念的な理解, 実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組んでいるか。自ら学習を調整しようとしているか。

日常の学習方法

基礎事項(理論)の定着をプリントや演習問題などを通して図る。 実験(思考実験)や観察を通して身の回りの事象に興味関心を持たせる。

履修上の注意(発展科目との関連)

--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	運動とエネルギー	【知識及び技能】 運動の表し方, 運動の法則, 仕事と力学的エネルギーに関する知識の習得や物理現象の理解, 実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組んでいるか。	運動の表し方 運動の法則 仕事と力学的エネルギー	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し, 表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	6
	熱	【知識及び技能】 熱とエネルギーに関する知識の習得や物理現象の理解, 実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組んでいるか。	熱とエネルギー	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し, 表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	2
	波	【知識及び技能】 波の性質, 音に関する知識の習得や物理現象の理解, 実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組んでいるか。	波の性質 音	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し, 表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	2

	電気	【知識及び技能】 物質と電気、磁場と交流に関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	物質と電気 磁場と交流	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	3
1学期配当時間計								13
2 学 期	物理学と社会	【知識及び技能】 運動の表し方、運動の法則、仕事と力学的エネルギーに関する知識の習得や物理現象の理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	エネルギーの利用	【知識及び技能】 様々な物理量の定義や現象を理解し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	3
	演習	【知識及び技能】 物理基礎の内容の知識・技能を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	総合演習	【知識及び技能】 物理基礎の内容の知識・技能を理解している。概ね8割以上の得点率である。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	12
2学期配当時間計								15
3 学 期	演習	【知識及び技能】 物理基礎の内容の知識・技能を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか。	総合演習	【知識及び技能】 物理基礎の内容の知識・技能を理解している。概ね8割以上の得点率である。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組むことができる。	○	○	○	2
3学期配当時間計								2
年間配当時間計								30

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	理科		科目名:	化学基礎演習		講座名:	化学基礎演習	
年次:	3年次	単位数:	1	区分:	必修	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		「高等学校化学基礎」(第一学習社)・「2023 大学入学共通テスト対策 つかむ化学基礎」(浜島書店)・「ケミ探+ 化学基礎」(啓林館)						
教科担当者:		青木正博・岡野郁夫						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

日常の学習方法

教科書を用いて単元ごとに基本重要項目を確認し、副教材に取り組ませることで演習力を向上させていく。問題演習中心の授業を行い、生徒の取り組み状況や発問によって、苦手事項の確認を行うとともに、分かりやすい解説を施すことで理解を深めさせていく。理解が不十分な点については、必ず教科書で確認させるとともに、ポイントになる事項を強調指摘していくようにする。
--

履修上の注意(発展科目との関連)

量関係問題、グラフ、図表などを用いて、情報処理能力を養い問題解決力の向上を目指す。生活と化学に関する分野の学習から、身の回りの物質がいかに人間生活を豊かにしているかを理解する。
--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
	物質の成分と構成元素	【知識及び技能】 物質の性質と分離精製、元素の確認などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の性質と分離精製、元素の確認などの基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の性質と分離精製、元素の確認などの基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	物質の成分 物質の構成元素 状態変化と熱運動	【知識・技能】 物質の性質と分離精製、元素の確認などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質の性質と分離精製、元素の確認などの基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の性質と分離精製、元素の確認などの基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	1
	原子の構造と元素の周期表	【知識及び技能】 原子の構造と元素の周期表などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 原子の構造と元素の周期表などの基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造と元素の周期表などの基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	原子の構造 イオン 元素の相互関係	【知識・技能】 原子の構造と元素の周期表などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 原子の構造と元素の周期表などの基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子の構造と元素の周期表などの基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	2

1 学 期	化学結合	【知識及び技能】 化学結合の基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学結合の基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 化学結合の基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	イオン結合 共有結合 金属結合 結晶の比較	【知識・技能】 化学結合の基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 化学結合の基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学結合の基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	2
	物質量和化学反応式	【知識及び技能】 物質量和化学反応式などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量和化学反応式などの基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 物質量和化学反応式などの基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	原子量・分子量と式量 物質量 溶解と濃度	【知識・技能】 物質量和化学反応式などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質量和化学反応式などの基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質量和化学反応式などの基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	1
	中間考査				○	○	○	1
	物質量和化学反応式	【知識及び技能】 物質量和化学反応式などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質量和化学反応式などの基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 物質量和化学反応式などの基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	化学変化と化学反応式 化学反応の量的関係	【知識・技能】 物質量和化学反応式などの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物質量和化学反応式などの基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質量和化学反応式などの基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	2

	【知識及び技能】 酸と塩基の反応とpHの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 酸と塩基の反応とpHの基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 酸と塩基の反応とpHの基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	酸と塩基 水素イオン濃度 中和と塩 中和滴定	【知識・技能】 酸と塩基の反応とpHの基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 酸と塩基の反応とpHの基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸と塩基の反応とpHの基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	3
期末考査				○	○	○	1
				1学期配当時間計			13
	【知識及び技能】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	酸化と還元 酸化剤と還元剤の反応 酸化還元の量的関係 金属のイオン化傾向 電池 金属の製錬 電気分解	【知識・技能】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	5
	【知識及び技能】 日常生活や社会を支える身近な物質の背景にある基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活や社会を支える身近な物質の背景にある基本原理を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活や社会を支える身近な物質の背景にある基本原理に関心を持ち、探究しようとする。	化学と人間生活の関わり	【知識・技能】 日常生活や社会を支える身近な物質の背景にある基本原理を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日常生活や社会を支える身近な物質の背景にある基本原理を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活や社会を支える身近な物質の背景にある基本原理に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	3
中間考査				○	○	○	0

	総合問題 演習	【知識及び技能】 化学基礎の内容を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学基礎の内容を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 化学基礎の内容に関心を持ち、探究しようとする。	中和滴定	【知識・技能】 化学基礎の内容を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 化学基礎の内容を説明および表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎の内容に関心を持ち、探究しようとする。	○	○	○	6
		期末考査				○	○	○
					2学期配当時間計			15
3 学 期	総合問題 演習	【知識及び技能】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原則を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原則を説明および表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原則に関心を持ち、探究しようとする。	金属のイオン化傾向 電池 金属の製錬 電気分解	【知識・技能】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原則を理解し、実験操作と科学的に探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原則を説明および表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 酸化還元反応とその応用である電池、電気分解の基本原則に関心を持ち、探究しようとしている。	○	○	○	2
		学年末考査						
					3学期配当時間計			2
					年間配当時間計			30

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

教科:	理科		科目名:	生物基礎演習		講座名:	生物基礎演習	
年次:	3年次	単位数:	1	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		「高等学校 生物基礎」(第一学習社)「チェック&演習 生物基礎」(数研出版)「新課程二訂版 スクエア最新図説生物」(第一学習社)						
教科担当者:	今門 泰久 田中 真由紀							

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解し、活用できるレベルで知識を身につける。 共通テストに必要な知識及び技能を教科書や資料集、過去問を通して整理する。	生命や生命現象について、生物学的な視点で考え、表現する能力を身につける。 探究的なものの見方、考え方を習得し、実際の共通テストの実験考察問題等の思考過程を自ら確かなことばで表現できる。	自ら深い学びに至れるように、主体的・継続的に学習に取り組める。また、自らの学びを振り返り、調節できる。

単に重要語句などを暗記するのではなく、用語の意味、各学習項目の要点、実験の概要と結果から何が言えるのかを説明できるように学習を進めてもらいたい。その際、図説を見ながら学習を進め、教科書や入試問題の説明文を読んだときにイメージ図が頭に浮かぶようになればベストである。授業内にできることは限られているので、予習・復習に取り組み、学んだことをノートに整理し、自らの学びを調節することが求められる。

--

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	生物の特徴 遺伝子とその働き	【知識及び技能】 指定された範囲の内容について、基本的な現象を理解している。マーク式の問題に概ね適切に解答することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指定された範囲の内容について生命現象や実験結果の理由などを、適切に記述することができる。基本的な内容を図示できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録している。また、取り組みを振り返り、調節している。	生物の多様性と共通性 生物の共通性の由来 生物とエネルギー 代謝とATP 呼吸と光合成 遺伝情報とDNA DNAの複製と分配 遺伝情報とタンパク質 転写と翻訳 遺伝子とゲノム	【知識及び技能】 細胞のつくりやATPなどを理解している。マーク式の問題に概ね適切に解答することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命現象や実験結果の理由などを、適切に記述することができる。基本的な内容を図示できる。また、適切に修正できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録して、提出できている。また、取り組みを振り返り、表現し、実際に調節している。	○	○	○	6	
	神経系と内分泌系による調節 免疫	【知識及び技能】 指定された範囲の内容について、基本的な現象を理解している。マーク式の問題に概ね適切に解答することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指定された範囲の内容について生命現象や実験結果の理由などを、適切に記述することができる。基本的な内容を図示できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録している。また、取り組みを振り返り、調節している。	恒常性と神経系 恒常性と内分泌系 体内環境を調節するしくみ 血液凝固 免疫	【知識及び技能】 ホルモンや獲得免疫の流れなどを理解している。マーク式の問題に概ね適切に解答することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命現象や実験結果の理由などを、適切に記述することができる。基本的な内容を図示できる。また、適切に修正できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録して、提出できている。また、取り組みを振り返り、表現し、実際に調節している。	○	○	○	7	
1学期配当時間計									13
2 学 期	植生と遷移生態系とその保全	【知識及び技能】 指定された範囲の内容について、基本的な現象を理解している。マーク式の問題に概ね適切に解答することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指定された範囲の内容について生命現象や実験結果の理由などを、適切に記述することができる。基本的な内容を図示できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録している。また、取り組みを振り返り、調節している。	植生と環境の関わり 遷移のしくみ 遷移とバイオーム 生態系とその保全	【知識及び技能】 バイオームの成立要因や主な動植物種などを理解している。マーク式の問題に概ね適切に解答することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命現象や実験結果の理由などを、適切に記述することができる。基本的な内容を図示できる。また、適切に修正できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録して、提出できている。また、取り組みを振り返り、表現し、実際に調節している。	○	○	○	5	
	総合演習	【知識及び技能】 生物基礎の内容の知識・技能を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物基礎の内容の知識・技能をほかの人に説明したり、ノートにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録している。また、取り組みを振り返り、調節している。	総合演習	【知識及び技能】 生物基礎の内容の知識・技能を理解している。概ね8割以上の得点率である。 【思考力、判断力、表現力等】 生物基礎の内容の知識・技能をほかの人に説明できる。またノートにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録している。また、取り組みを振り返り、調節している。	○	○	○	10	
2学期配当時間計									15

3 学 期	総合演習	【知識及び技能】 生物基礎の内容の知識・技能を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物基礎の内容の知識・技能をほかの人に説明したり、ノートにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録している。また、取り組みを振り返り、調節している。	総合演習	【知識及び技能】 生物基礎の内容の知識・技能を理解している。概ね8割以上の得点率である。 【思考力、判断力、表現力等】 生物基礎の内容の知識・技能をほかの人に説明できる。またノートにまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学びに取組み、その内容を記録して、提出できている。また、取り組みを振り返り、表現し、実際に調節している。	○	○	○	2
3学期配当時間計								2
年間配当時間計								30

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
		成績不振者に向けた 課題を課す場合がある			成績不振者に向けた 課題を課す場合がある		

教科:	保健体育		科目名:	体育		講座名:	体育(3年)	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:		新 高等 保健体育(大修館書店)						
教科担当者:	伊東 龍司、木原 奎吾、佐藤 拓、田久保 裕之、高山 誠、田中 柊彩、長井 正徳、							

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするなどなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

教員の指導のもと、個人やチームで考えたことなどを学習ノート等に記録し、振り返りを行うことで、進歩の状況を確認しながら単元を進める。また、自分や仲間の課題を発見し、課題解決の過程を踏まえて思考し判断したことを、根拠を示したり他者に配慮したりしながら、言葉や文章及び動作などで表したり、他者にわかりやすく伝えたりする。

①動きやすい服装、体育にふさわしい服装をしてくること。②ピアス、ネックレス、指輪などの装飾品は外してくること。③爪が伸びているものは切ってくること。④頭髪については、髪が邪魔にならないように結ぶ、束ねるなど配慮すること。⑤体調管理を各自すること。(睡眠、水分補給、運動への順化等)⑥人数把握のため合図があったら速やかに整列すること。⑦集合したら話を聞く姿勢をつくること。時間を守ること。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	球技	【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解する。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	以下の種目から1つ選択 ・バドミントン ・テニス ・ダンス ・アルティメット	【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したい。	○	○	○	13	
	水泳	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解する。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳およいだり速く泳いだりすること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに持続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどや、水泳の事故防止に関する	背泳ぎ	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳およいだり速く泳いだりすることができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに持続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということなどをしたい。水泳の事故防止に	○	○	○	13	
					1学期配当時間計				26

3 学 期	【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解する。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保すること	以下の種目から1つ選択 ・バスケットボール ・サッカー ・インディアカ ・アルティメット	【知識及び技能】 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどをしたり、健康・安全を確保している。	○	○	○	4	
	3学期配当時間計							4
	年間配当時間計							60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	芸術		科目名:	美術基礎実習		講座名:	美術基礎実習	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:		高校生の美術1(日本文教出版)						
教科担当者:		大竹 美美子						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生かして個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

日常の学習方法

美術Ⅰにおいては、平面の表現を中心に制作を行う。美術Ⅱでは、応用的な平面の表現や立体表現の基礎を学習する。
そして、美術基礎実習では、発展的で多様な表現力の向上を目指す。

履修上の注意(発展科目との関連)

美術Ⅰにおいては、平面の表現を中心に制作を行う。美術Ⅱでは、応用的な平面の表現や立体表現の基礎を学習する。そして、美術基礎実習では、発展的で多様な表現力の向上を目指す。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	石膏デッサン	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 石膏デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練らせる 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる	・志望進路に合わせた実技対策の石膏デッサンを行う。(木炭・鉛筆) ・基本的なデッサン力を身に付ける。	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けているか 【思考力、判断力、表現力等】 石膏デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練っているか 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか	○	○	○	13	
	静物デッサン	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 静物デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練らせる 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる	・志望進路に合わせた実技対策の静物デッサンを行う。(木炭・鉛筆) ・基本的なデッサン力を身に付ける。	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けているか 【思考力、判断力、表現力等】 静物デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練っているか 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか	○	○	○	13	
1学期配当時間計									26
2 学期	石膏デッサン	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 石膏デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練らせる 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる	・志望進路に合わせた実技対策の石膏デッサンを行う。(木炭・鉛筆) ・基本的なデッサン力と共に、受験当日の試験時間を意識しながら描く力を身に付ける。	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けているか 【思考力、判断力、表現力等】 石膏デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練っているか 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか	○	○	○	15	
	静物デッサン	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 静物デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練らせる 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる	・志望進路に合わせた実技対策の静物デッサンを行う。(木炭・鉛筆) ・基本的なデッサン力と共に、受験当日の試験時間を意識しながら描く力を身に付ける。	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けているか 【思考力、判断力、表現力等】 静物デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練っているか。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか	○	○	○	15	
2学期配当時間計									30

3 学 期	石膏デッサン	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 石膏デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練らせる 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる	・志望進路に合わせた実技対策の石膏デッサンを行う。(木炭・鉛筆) ・基本的なデッサン力と共に、受験当日の試験時間を意識しながら描く力を身に付ける。	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けているか 【思考力、判断力、表現力等】 石膏デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練っているか 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか	○	○	○	2
	静物デッサン	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けさせる 【思考力、判断力、表現力等】 静物デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練らせる 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる	・志望進路に合わせた実技対策の静物デッサンを行う。(木炭・鉛筆) ・基・基本的なデッサン力と共に、受験当日の試験時間を意識しながら描く力を身に付ける。	【知識及び技能】 構図、明暗、質感表現、道具の特性把握等の基礎を理解・習得させ、デッサンの幅広い表現を身に付けているか 【思考力、判断力、表現力等】 静物デッサンの特性を理解し、デッサンの構想を練っているか 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか	○	○	○	2
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

教科:	外国語	科目名:	英語コミュニケーションⅢ	講座名:	英語コミュニケーションⅢ α		
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位
使用教科書・補助教材:		『Blue Marble Ⅲ』(数研出版)・『Cutting Edge blue』(エミル出版)・『Cutting Edge orange』(エミル出版)・『scramble』(旺文社)					
教科担当者:		大西秀人・鈴木実千・新妻祐樹・村上由美子					

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。	自分の考えや伝えたいことを、英語で話したり書いたりして表現できる力を養う。理解した文法事項を正しく理解し使いこなせるようにする。	外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとしている。学習に見通しを持ち、自らを振り返り調整しながら学ぼうとしている。

別紙参照。授業担当者の指示に従うこと。

英文の概要を把握するような読解ストラテジーを身に付けるよう予習や課題に取り組むこと。理解した英文は活用できるように音読トレーニングやパターンプラクティスを行うこと。

一方で、難解な英文を正確に理解したり、詳細な情報を英文から得たりするために必要な文法や文構造の知識を身に付けるようにすること。必ず音声を活用して4技能が総合的に伸びるよう学習する。

単元名		具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	『cutting edge blue』 ・ 『cutting edge orange』 ・ 『Blue Marble Ⅲ』	【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	『cutting edge blue』 Chapter 18 ・ 『cutting edge orange』 Chapter 1-6 ・ 『Blue Marble Ⅲ』 Lesson 1-5	【知識及び技能】 本文の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容に関して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。	○	○	○	26
1学期配当時間計								26
2 学 期	『cutting edge orange』 ・ 『Blue Marble Ⅲ』	【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	『cutting edge orange』 Chapter 7-16 ・ 『Blue Marble Ⅲ』 Lesson 6-10	【知識及び技能】 本文の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容に関して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。	○	○	○	30
2学期配当時間計								30

3 学 期	共通テスト 演習	【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	共通テスト(リーディング)演習	【知識及び技能】 本文の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容に関して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。	○	○	○	4
3学期配当時間計								4
年間配当時間計								60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	外国語		科目名:	英語コミュニケーションⅢ		講座名:	英語コミュニケーションⅢ β	
年次:	3年次	単位数:	2		区分:	必修	形態:	クラス単位
使用教科書・補助教材:		『NEO 現代を探る』(いいずな書店)・『パワーマックス共通テスト対応英語リスニング×8』(Z会)・『共通テスト英語読解トレーニング』(エミル出版)						
教科担当者:		鈴木実千・新妻祐樹・村上由美子						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。	自分の考えや伝えたいことを、英語で話したり書いたりして表現できる力を養う。理解した文法事項を正しく理解し使いこなせるようにする。	外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとしている。学習に見通しを持ち、自らを振り返り調整しながら学ぼうとしている。

日常の学習方法

別紙参照。授業担当者の指示に従うこと。

履修上の注意(発展科目との関連)

英文の概要を把握するような読解ストラテジーを身に付けるよう予習や課題に取り組むこと。理解した英文は活用できるように音読トレーニングやパターンプラクティスを行うこと。 一方で、難解な英文を正確に理解したり、詳細な情報を英文から得たりするために必要な文法や文構造の知識を身に付けるようにすること。必ず音声を活用して4技能が総合的に伸びるよう学習する。
--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	『NEO 現代を探る』	【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	『NEO 現代を探る』Unit 1- 9	【知識及び技能】 本文の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容に関して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。				18
	『パワーマックス共通テスト対応英語リスニング×8』	【知識及び技能】 共通テストと同レベルのリスニング問題に対する聞き取る能力を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 聞こえる英語の内容や調子等から、その英語が話されている場面や人間関係等を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	『パワーマックス共通テスト対応英語リスニング×8』1-4	【知識及び技能】 聞こえてくる英語の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 聞こえてくる英語の内容から場面や人間関係が判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。				8
1学期配当時間計								26
	『NEO 現代を探る』	【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。	『NEO 現代を探る』Unit 10- 20	【知識及び技能】 本文の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容に関して表現できる。				22

2 学 期		【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。		【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。				
	『パワーマックス共通テスト対応英語リスニング×8』	【知識及び技能】 共通テストと同レベルのリスニング問題に対する聞き取る能力を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 聞こえる英語の内容や調子等から、その英語が話されている場面や人間関係等を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	『パワーマックス共通テスト対応英語リスニング×8』5-8	【知識及び技能】 聞こえてくる英語の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 聞こえてくる英語の内容から場面や人間関係が判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。				8
					2学期配当時間計			30
3 学 期	共通テスト 演習	【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	共通テスト(リーディング)演習	【知識及び技能】 本文の内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容に関して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。	○	○	○	4
					3学期配当時間計			4
					年間配当時間計			60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

都立新宿高等学校 令和6年度（2024年度） シラバス

教科：	外国語		科目名：	論理・表現Ⅲ		講座名：	論理・表現Ⅲ	
年次：	3年次	単位数：	2	区分：	必修	形態：	習熟度別	
使用教科書・補助教材：		授業で演習に取り組んだ後、足りないところを主体的にな学習できるようにする。						
教科担当者：	大西・杉山・鈴木・田中（利）・中川・新妻							

科目（講座）の目標

共通	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・基本的文法や英文の構造を理解した上で、「読む・聞く・話す・書く」4技能を高めるために問題演習を繰り返し、入試に向けた応用力の養成を目指す。 ・英作文や和文英訳に必要な知識を取得する。	・学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができる。 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができる。 ・ 論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書く力をつける。	・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・小テストや英作文テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。

日常の学習方法

- ・ガイダンスおよび各講座担当より説明する。
- ・年間を通して、学習内容や方法など詳細について、担当教諭からと、Classiとteamsにより伝える。

履修上の注意（発展科目との関連）

- ① 文法事項に関する問題演習
項目別とランダム演習を並行して行う。また、Scramble文法・語法の小テストを行う。
- ② 和文英訳および英作文
既習の事項を活用して実際にまとまった英文を書く練習をする。年間4回のテストを評価対象とする。
自分の考えや経験を、既習の語彙や文法を用いて表せるようにする。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容（領域）	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	文法・語法	【知識及び技能】 ・1，2年次で既習事項の基本的文法や英文の構造を理解した上で、それらのさらなる定着を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、入試問題に相当する問題を解ける応用力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・文法や語法の小テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。	【文法・語法・表現】 Critical Point 2 英文法語法問題集 1 動詞 2 時制 3 助動詞・受動態 13 実戦演習1 14 実戦演習2 【Scramble 英文法・語法】 Review Test：第24～28回 イディオム・会話等	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか	○	○	○	6
	英作文	【知識及び技能】 ・英作文や和文英訳に必要な知識を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができる。 ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・小テストや英作文テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。	【英作文】 1. 入試必携英作文 Write to the Point Lesson 4 目的の表現 ～ Lesson 6 時制（2） 2. EARTHRISE Lesson 1-2 3. 英作文テスト第1回 4. オンライン英作文 Writing Method	【知識及び技能】 英作文や和文英訳に必要な知識を身につけているか 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができるか ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書けるか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・英作文テストで、学習したことを応用して論理の展開や表現の方法を工夫しながら、テーマにそって自分の意見を表現できたか ・作文小テストや授業に計画的かつ主体的に取り組めているか ・オンライン英作文のための冊子Writing Methodが提出されたか	○	○	○	7
	中間考査							
	文法・語法	【知識及び技能】 ・1，2年次で既習事項の基本的文法や英文の構造を理解した上で、それらのさらなる定着を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、入試問題に相当する問題を解ける応用力を養う。	【文法・語法・表現】 Critical Point 2 英文法語法問題集 4 仮定法 5 準動詞1 6 準動詞2 7 準動詞3 15 実戦演習3 16 実戦演習4 【Scramble 英文法・語法】 Extension Test：第1～5回 動詞周辺	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか	○	○	○	6

2 学 期		【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・文法や語法の小テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。		【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか				
	英作文	【知識及び技能】 ・英作文や和文英訳に必要な知識を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができる。 ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・小テストや英作文テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。	【英作文】 1. 入試必携英作文 Write to the Point Lesson 7 動詞の語法 ～ Lesson 10 数字の表現 2. EARTHRISE Lesson 3-4 3. 英作文テスト第2回 4. オンライン英作文 Writing Method	【知識及び技能】 英作文や和文英訳に必要な知識を身につけているか 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができるか ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書けるか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・英作文テストで、学習したことを応用して論理の展開や表現の方法を工夫しながら、テーマにそって自分の意見を表現できたか ・作文小テストや授業に計画的かつ主体的に取り組めているか ・オンライン英作文のための冊子Writing Methodが提出されたか	○	○	○	7
	期末考查							
					1学期配当時間計			26
	文法・語法	【知識及び技能】 ・1, 2年次で既習事項の基本的文法や英文の構造を理解した上で、それらのさらなる定着を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、入試問題に相当する問題を解ける応用力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・文法や語法の小テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。	【文法・語法・表現】 Critical Point 2 英文法語法問題集 4 仮定法 8 関係詞 9 接続詞 17 実戦演習5 18 実戦演習6 【Scramble 英文法・語法】 Extension Test: 第6～9回 否定と疑問文・比較・代名詞・関係詞	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか	○	○	○	6
2 学 期	英作文	【知識及び技能】 ・英作文や和文英訳に必要な知識を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができる。 ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・小テストや英作文テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。	【英作文】 1. 入試必携英作文 Write to the Point Lesson 11 仮定・条件の基本 ～ Lesson 14 比較の応用 2. EARTHRISE Lesson 5-6 3. 英作文テスト第3回 4. オンライン英作文 Writing Method	【知識及び技能】 英作文や和文英訳に必要な知識を身につけているか 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができるか ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書けるか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・英作文テストで、学習したことを応用して論理の展開や表現の方法を工夫しながら、テーマにそって自分の意見を表現できたか ・作文小テストや授業に計画的かつ主体的に取り組めているか ・オンライン英作文のための冊子Writing Methodが提出されたか	○	○	○	8
	中間考查							
		【知識及び技能】 ・1, 2年次で既習事項の基本的文法や英文の構造を理解した上で、それらのさらなる定着を目指す。	【文法・語法・表現】 Critical Point 2 英文法語法問題集 10 疑問詞・疑問文 11 比較 12 否定・倒置 19 実戦演習7 20 実戦演習8 【Scramble 英文法・語法】 Extension Test: 第10～14回 倒置・協調・省略・動詞の語法	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか				

	文法・語法	【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、入試問題に相当する問題を解ける応用力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・文法や語法の小テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。		【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか	○	○	○	8
	英作文	【知識及び技能】 ・英作文や和文英訳に必要な知識を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができる。 ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書く力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ・小テストや英作文テストに計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。	【英作文】 1. 入試必携英作文 Write to the Point Lesson 15 譲歩の表現 ～ Lesson 18 Aは…だ Paragraph Writingについて 2. EARTHRISE Lesson7～12 入試に向けた自由英作文のまとめ 3. 英作文テスト第3回 4. オンライン英作文 Writing Method	【知識及び技能】 英作文や和文英訳に必要な知識を身につけているか 【思考力、判断力、表現力等】 ・学習したことを応用して、和文英訳、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができるか ・論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語を書けるか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・英作文テストで、学習したことを応用して論理の展開や表現の方法を工夫しながら、テーマにそって自分の意見を表現できたか ・作文小テストや授業に計画的かつ主体的に取り組めているか ・オンライン英作文のための冊子Writing Methodが提出されたか	○	○	○	8
期末考査								
					2学期配当時間計			30
3学期	共通テスト 実戦 問題演習	【知識及び技能】 共通テストの時間配分をして、目標とする点数を取れるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 共通テストで目標とする点数を取れるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 授業で演習に取り組んだ後、足りないところを主体的な学習できるようにする。	共通テスト問題演習 (リーディング・リスニング)	【知識及び技能】 共通テストの時間配分をして、目標とする点数を取れたか 【思考力、判断力、表現力等】 共通テストで目標とする点数を取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業で演習に取り組んだ後、足りないところを主体的な学習しているか	○	○	○	4
					3学期配当時間計			4
					年間配当時間計			60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	外国語		科目名:	英語演習		講座名:	英語演習	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	必修選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		共通テスト対応模試 2024パワーマックス英語リーディング×8 80分(Z会), Final Spurt 40 大学入学共通テスト英語リーディング実践模試(文英堂), The Levels 4 英語長文問題集 国公立大						
教科担当者:	大西・鈴木							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・共通テスト模擬問題を、集中力を切らさずに、時間内で解く力を養う。 ・共通テスト模擬問題を、8割以上は正解することを目指す。	・国公立上位校レベル(The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル)が読み解ける読解力を養う。	・授業に集中して取り組み、復習を工夫して主体的に学ぶことで、読解力を中心にコミュニケーションと入試に必要な力を養う。

日常の学習方法

・ ガイダンスおよび講座担当より説明する。

履修上の注意(発展科目との関連)

① 共通テスト模擬問題で基礎的な力を養う。
② 「The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル」で、国立上位校二次試験および私大上位校入試に対応する力を養う。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	入試問題 演習	【知識及び技能】 ・共通テスト模擬問題で、入試に向けた基礎的な力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国公立上位校レベル(The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル)が読み解ける読解力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に集中して取り組み、復習を工夫して主体的に学ぶことで、知識を定着させる。	【共通テスト模擬問題】 80分×3回以上 【The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル】 第1～3回(新潟・九州他)	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか 授業の成果物として提出物を出しているか	○	○	○	13
	中間考査							
	入試問題 演習	【知識及び技能】 ・共通テスト模擬問題で、入試に向けた基礎的な力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国公立上位校レベル(The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル)が読み解ける読解力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に集中して取り組み、復習を工夫して主体的に学ぶことで、知識を定着させる。	【共通テスト模擬問題】 80分×3回以上 【The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル】 第4～7回(東北大・京大他)	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか 授業の成果物として提出物を出しているか	○	○	○	13
	期末考査							
1学期配当時間計					26			

2 学 期	入試問題 演習	【知識及び技能】 ・共通テスト模擬問題で、入試に向けた基礎的な力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国公立上位校レベル(The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル)が読み解ける読解力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に集中して取り組み、復習を工夫して主体的に学ぶことで、知識を定着させる。	【共通テスト模擬問題】 80分×3回以上 【The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル】 第8～11回(東京外大・一橋他)	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか 授業の成果物として提出物を出しているか	○	○	○	15
	中間考査							
	入試問題 演習	【知識及び技能】 ・共通テスト模擬問題で、入試に向けた基礎的な力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国公立上位校レベル(The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル)が読み解ける読解力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に集中して取り組み、復習を工夫して主体的に学ぶことで、知識を定着させる。	【共通テスト模擬問題】 80分×3回以上 【The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル】 第12～15回(東大・北大他)	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか 授業の成果物として提出物を出しているか	○	○	○	15
	期末考査							
					2学期配当時間計			30
3 学 期	共通テスト 直前演習	【知識及び技能】 ・共通テスト模擬問題で、入試に向けた基礎的な力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国公立上位校レベル(The Levels 4 英語長文問題集 国公立大レベル)が読み解ける読解力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業に集中して取り組み、復習を工夫して主体的に学ぶことで、知識を定着させる。	【共通テスト模擬問題】 80分×2回以上	【知識及び技能】 学習内容の基本事項を理解しているか 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容を使用して読み、聴き、表現することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 小テストや授業に主体的に取り組んでいるか	○	○	○	4
					3学期配当時間計			4
					年間配当時間計			60

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

教科:	情報		科目名:	情報Ⅰ 演習		講座名:	情報Ⅰ 演習	
年次:	3年次	単位数:	1	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		情報Ⅰ (第一学習社)・進研 WINSTEP 情報Ⅰ (Benesse)						
教科担当者:	羽賀康博							

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

1年次の既習事項を踏まえ、日常生活の中の情報システムやアルゴリズムについて考えるとい。また、情報や情報機器に関する報道についても関心を持ち、それらの意味をよく理解できるようにする。

受験科目としての情報の本格的な開始年に当たる。過去問も少なく不安が多いかもしれないが、どのような問題が出題されても対応できる基礎力を育成する。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	問題解決演習	【知識及び技能】 情報技術を体系的に理解するとともに、情報社会と人の関わりについて理解し、効果的に情報を表現する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえる力を養い、問題解決に向けて効果的に情報を活用する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報を活用した問題解決を行い、その問題解決の過程を振り返って考察する態度を養う。	・日常の中のアルゴリズム ・問題の解決方法の考察 ・問題演習	【知識及び技能】 ・体系的に情報技術を理解している ・情報社会について理解している ・効果的に情報表現する技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・事象のモデルを考えることができる ・問題を数式やグラフ、表、アルゴリズムなど解決できる形に変換することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	7
	コンピュータとプログラミング	【知識及び技能】 情報技術を体系的に理解するとともに、情報社会と人の関わりについて理解し、効果的に情報を表現する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえる力を養い、問題解決に向けて効果的に情報を活用する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報を活用した問題解決を行い、その問題解決の過程を振り返って考察する態度を養う。	・プログラミングの基礎 ・アルゴリズムのプログラミング表現 ・問題演習	【知識及び技能】 ・体系的に情報技術を理解している ・情報社会について理解している ・効果的に情報表現する技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・事象のモデルを考えることができる ・問題を数式やグラフ、表、アルゴリズムなど解決できる形に変換することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	6
1学期配当時間計					13			

2 学 期	データの活用	【知識及び技能】 情報技術を体系的に理解するとともに、情報社会と人の関わりについて理解し、効果的に情報を表現する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえる力を養い、問題解決に向けて効果的に情報を活用する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報を活用した問題解決を行い、その問題解決の過程を振り返って考察する態度を養う。	・データ活用の基礎 ・データの分析 ・問題演習	【知識及び技能】 ・体系的に情報技術を理解している ・情報社会について理解している ・効果的に情報表現する技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・事象のモデルを考えることができる ・問題を数式やグラフ、表、アルゴリズムなど解決できる形に変換することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	7
	情報Ⅰ全範囲共通テスト対策	【知識及び技能】 情報技術を体系的に理解するとともに、情報社会と人の関わりについて理解し、効果的に情報を表現する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえる力を養い、問題解決に向けて効果的に情報を活用する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報を活用した問題解決を行い、その問題解決の過程を振り返って考察する態度を養う。	入試問題等補充課題 情報Ⅰ全範囲共通テスト対策	【知識及び技能】 ・体系的に情報技術を理解している ・情報社会について理解している ・効果的に情報表現する技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・事象のモデルを考えることができる ・問題を数式やグラフ、表、アルゴリズムなど解決できる形に変換することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	8
2学期配当時間計								15
3 学 期	情報Ⅰ全範囲共通テスト対策	【知識及び技能】 情報技術を体系的に理解するとともに、情報社会と人の関わりについて理解し、効果的に情報を表現する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえる力を養い、問題解決に向けて効果的に情報を活用する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報を活用した問題解決を行い、その問題解決の過程を振り返って考察する態度を養う。	入試問題等補充課題 情報Ⅰ全範囲共通テスト対策	【知識及び技能】 ・体系的に情報技術を理解している ・情報社会について理解している ・効果的に情報表現する技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・事象のモデルを考えることができる ・問題を数式やグラフ、表、アルゴリズムなど解決できる形に変換することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	7
3学期配当時間計								7
年間配当時間計								35

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

教科:	情報		科目名:	情報Ⅱ		講座名:	情報Ⅱ	
年次:	3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:		情報Ⅱ(東京書籍)・進研 WINSTEP 情報Ⅰ(Benesse)						
教科担当者:	羽賀康博							

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

現在の社会において情報技術が利用されていない場面は極めて少ない。一方でその利用されている情報技術があることが当たり前になりすぎ意識されることがない。情報Ⅱの学習を深めるためには、普段の日常の中で利用されている情報技術について自ら目を向けその背景について考察することが重要である。

情報Ⅰの発展科目であるため、情報Ⅰの内容を十分に理解している必要がある。また、データサイエンスの分野では2年次で学習した数学を利用する。

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	情報社会の 進展と情報 技術	【知識及び技能】 情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展とコミュニケーションの変化や多様化、知的活動への影響について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ、将来の情報技術と情報社会の在り方について考察し、変化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義と、情報誌集システムの創造やデータ活用の意義について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 社会の変化と情報技術のかかわりについて主体的に捉え発展に寄与しようとする態度を養う	・情報の真偽に関する研究 ・データの可視化 ・人工知能の活用状況の考察	【知識・技能】 ・情報の真偽を確認する技能を身に付けている ・公的統計を取得する技能を身に付けている ・現状の人工知能やロボットによる仕事の代替の状況を理解している 【思考・判断・表現】 ・表現メディアの特性を踏まえた情報の伝わり方を考えることができる ・データを可視化して表現することができる ・世の中の仕事について考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間の課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	12
	コミュニケーションとコンテンツ	【知識及び技能】 多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解し、文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けるとともに、コンテンツを様々な手段で適切かつ効果的に社会に発信する方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などを選択し、組合せを考えるとともに、情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、評価し改善し、それを社会に発信した時の効果や影響も評価改善する 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションとコンテンツが社会に与える影響について主体的に捉え発展に寄与しようとする態度を養う	・コンピュータを利用したコンテンツ制作 ・情報発信演習	【知識・技能】 ・プログラミングや3D造形のソフトウェアを利用してコンテンツを制作する技能を身に付けている ・集めた情報を整理し発信する尾能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・身近な製品に応用できる工夫を考えることができる ・収集した情報をスライドに可視化して表現することができる ・プロジェクトに取り組むプロセスでPDCAサイクルを考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間の課題について主体的に取り組み各課題の制作を進めている	○	○	○	14
1学期配当時間計					26			

2 学 期	情報とデータサイエンス	【知識及び技能】 データ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解するとともに、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形について理解し、データに基づく現象のモデル化やデータの処理を行い解釈・表現する方法について理解し、それらを評価する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、適切なデータを収集、整理整形し、将来の現象の予測や複数の現象間の関連を明らかにするための適切なモデル化や処理、解釈・表現を行い、その過程や結果を評価し改善する 【学びに向かう力、人間性等】 データサイエンスについて主体的に捉え発展に寄与しようとする態度を養う	・データの表現 ・モデル化とシミュレーション ・データ分析演習	【知識・技能】 ・統計グラフを作成する技能を身に付けている ・事象をモデル化し、シミュレーションする技能を身に付けている ・データ分析をする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・データを分かりやすいグラフや表として表現することができる ・適切なモデルの作成方法を考えることができる ・データを数学的に分析しその特徴を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間の課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	14	
	情報システムとプログラミング	【知識及び技能】 情報システムにおける、情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について理解するとともに、情報システムの設計を表記する方法、設計、実装、テスト、運用等のソフトウェア開発のプロセスとプロジェクト・マネジメントについて理解し、情報システムを構成するプログラムを制作する技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 情報システム及びそれによって提供されるサービスについて、その在り方や社会に果たす役割と及ぼす影響について考察し、情報システムをいくつかの機能単位に分割して制作し統合するなど、開発の効率や運用の利便性などに配慮して設計し、情報システムを構成するプログラムを制作し、その過程を評価し改善する 【学びに向かう力、人間性等】 情報システムについて主体的に捉え発展に寄与しようとする態度を養う	・プログラミング演習 ・情報システム制作	【知識・技能】 ・プログラムを作成する技能を身に付けている ・データベースを作成する技能を身に付けている ・プロジェクトマネジメントに基づいて制作する技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・作成するプログラムの仕組みについて考えることができる ・情報システムでの情報の扱われ方について考えることができる ・自身が制作したプログラムや情報システムについての評価改善を行うことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間の課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	16	
2学期配当時間計									30
3 学 期	情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究	【知識及び技能】 ここまで学んだ知識及び技能を活用し問題を発見する 【思考力、判断力、表現力等】 ここまで学んだ思考力、判断力、表現力等を活用し発見した問題の解決方法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決について主体的に捉えようとする態度を養う	・総合演習	【知識・技能】 ・情報と情報技術を活用し問題を発見する技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 ・情報と情報技術を活用し問題を分析し、解決するための取り組みを行うことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が設定した課題について主体的に取り組み検討しようとしている	○	○	○	14	
3学期配当時間計									14
年間配当時間計									70

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等

教科:	総合的な探究の時間		科目名:	総合的な探究の時間		講座名:	総合的な探究の時間	
年次:	3年次	単位数:	1	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:								
教科担当者:	新妻、川口、鈴木、辻、佐藤、坂本、長谷川、松本							

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

授業時のワークシートに取り組む。進路にかかわる課題に取り組む、進学先を探究していく。

--

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	2年次の探究のまとめ	【知識及び技能】 2年次に行った探究を振り返る。 【思考力、判断力、表現力等】 2年次探究を1200字程度のレポートに【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組み、グループ内で発表	2年次の探究を項目別にまとめたメモを参照し、1200字程度のレポートにまとめる。 そのレポートをもとに、グループ内で各自が取り組んだ探究を発表し、共有する。	【知識及び技能】 振り返りができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 レポートにまとめることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発表し、共有しようとしたか。	○	○	○	2
	進路実現に向けた活動	【知識及び技能】 受験科目、配点を調べる。オープン【思考力、判断力、表現力等】 受験科目や配点と自分の学力を鑑み【学びに向かう力、人間性等】 自分の進路について積極的に考え、	自分の志望校の受験科目、配点を調べ、適切な学習計画を立てる。 オープンキャンパスや学園祭の情報を調べ、見学する予定を立てる。 自分の進路について考え、よりよい進路実現にむけて努力する。	【知識及び技能】 受験科目、配点を調べられたか。オープンキャンパスや学園祭の情報を調べ、見学する予定を立てる。 受験科目や配点と自分の学力を鑑み【学びに向かう力、人間性等】 自分の進路について積極的に考え、	○	○	○	7
	進路講話	【知識及び技能】 進路講話を聴き、必要な情報を得る。【思考力、判断力、表現力等】 進路講話の内容で自分に必要な情報【学びに向かう力、人間性等】 進路講話から、進路実現に向けて積	内部、学部から招いた講師の講話を聴き、自分の進路実現に生かす。	【知識及び技能】 進路講話を聴き、必要な情報を得るこ【思考力、判断力、表現力等】 進路講話の内容で自分に必要な情報【学びに向かう力、人間性等】 進路講話から、進路実現に向けて積	○	○	○	4
1学期配当時間計								13
2 学 期	進路実現に向けた活動	【知識及び技能】 受験科目、配点や合格最低点を調べ【思考力、判断力、表現力等】 1学期の学習状況や外部模試の結果【学びに向かう力、人間性等】 自分の進路について積極的に考え、	自分の志望校の受験科目、配点、合格最低点を調べ、適切な学習計画を立てる。 オープンキャンパスや学園祭の情報を調べ、見学する予定を立てる。 自分の進路について考え、よりよい進	【知識及び技能】 受験科目、配点や合格最低点を調べ【思考力、判断力、表現力等】 1学期の学習状況や外部模試の結果【学びに向かう力、人間性等】 自分の進路について積極的に考え、	○	○	○	9
	共通テストに関する講話	【知識及び技能】 進路講話を聴き、必要な情報を得る。【思考力、判断力、表現力等】 進路講話の内容で自分に必要な情報【学びに向かう力、人間性等】 進路講話から、進路実現に向けて積	内部、学部から招いた講師の講話を聴き、自分の進路実現に生かす。 共通テスト説明会を実施し、共通テストの出願をミスのないようにする。	【知識及び技能】 進路講話を聴き、必要な情報を得るこ【思考力、判断力、表現力等】 進路講話の内容で自分に必要な情報【学びに向かう力、人間性等】 進路講話から、進路実現に向けて積	○	○	○	6
2学期配当時間計								15
3 学 期	進路講話・共通テスト説明会	【知識及び技能】 進路講話を聴き、必要な情報を得る。【思考力、判断力、表現力等】 進路講話の内容で自分に必要な情報【学びに向かう力、人間性等】 進路講話から、進路実現に向けて積	内部、学部から招いた講師の講話を聴き、自分の進路実現に生かす。 共通テスト説明会を実施し、共通テストの出願をミスのないようにする。	【知識及び技能】 進路講話を聴き、必要な情報を得るこ【思考力、判断力、表現力等】 進路講話の内容で自分に必要な情報【学びに向かう力、人間性等】 進路講話から、進路実現に向けて積	○	○	○	4
	進路実現に向けた活動	【知識及び技能】 共通テストの自己採点をする。【思考力、判断力、表現力等】 自己採点の状況から出願先を考え、【学びに向かう力、人間性等】 自己採点の状況から、進路実現に向	共通テストの自己採点をする。	【知識及び技能】 共通テストの自己採点をする。【思考力、判断力、表現力等】 自己採点の状況から出願先を考え、【学びに向かう力、人間性等】 自己採点の状況から、進路実現に向	○	○	○	3
		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】				
3学期配当時間計								7
年間配当時間計								35

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等